

2027年2月期第1四半期
(2026年3月1日～2026年5月31日)

決算説明資料

2026年7月15日
東宝株式会社
証券コード:9602

目次

エグゼクティブサマリー p.2

業績ハイライト p.11

Appendix 1 業績/見通し p.18

Appendix 2 各事業 p.37



※各ページ右上に、前回4/14決算説明資料からの更新状況を記載しています。

※第1四半期決算説明資料としての簡潔性を考慮し、ビジネスモデルやマーケット情報等の詳細情報は割愛しています。
詳細情報は、4/14の2026年2月期 決算説明資料をご覧ください。

エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー

2027年2月期
1Q業績/業績予想

- 1Q業績は、営業収入887億円(YoY+4.6%)、営業利益138億円(YoY△28.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益81億円(YoY△29.1%)
- 減益の主な理由は、IP・アニメ事業の連結調整(TOHO Globalの会社分割)。連結調整前(従来ベース)のIP・アニメ事業の1Q業績はYoYで増収増益 (p6、7参照)
- 引き続き、各作品のヒット創出や、夏興行以降の強力なIPラインナップの展開により、期初予想の達成とさらなる積み上げを目指す
- 1Q連結調整の通期影響は軽微である一方、政策保有株式の縮減方針策定等の影響を精査中のため、期初業績予想は現時点で据え置き

トピックス

- TOHOシネマズが映画鑑賞料金を改定 (6/1発表、p9参照)
- 政策保有株式の縮減方針を策定。2030/2期末までにB/S計上額を500億円超縮減へ (本日7/15発表、p10参照)
- 次世代エンタテインメント創出に向けた戦略的R&D投資を開始(本日7/15発表、p51参照)

2027年2月期第1四半期 連結業績ハイライト

[更新]

映画事業が好調に推移し増収となったものの、TOHO Globalの会社分割の影響等により減益

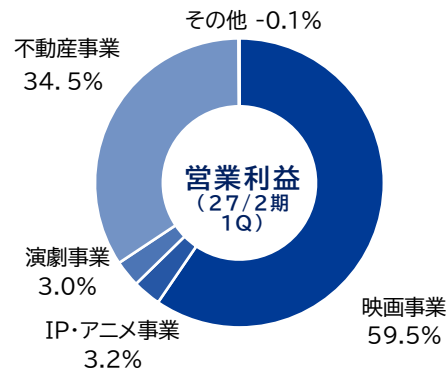
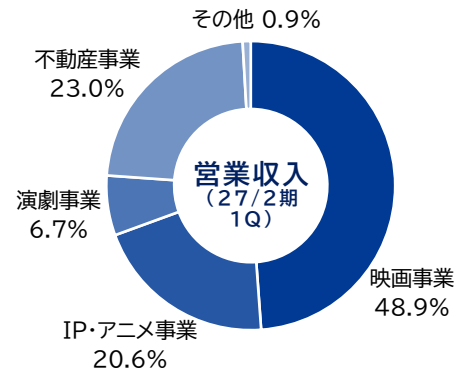
(百万円)	2026年2月期1Q	2027年2月期1Q	増減	増減率	
営業収入	84,878	88,742	3,864	4.6%	当社グループ・他社配給作品のヒットにより、映画興行等が好調
営業原価	44,812	50,092	5,279	11.8%	
売上総利益	40,065	38,650	△1,415	△3.5%	
販売費及び一般管理費	20,725	24,780	4,054	19.6%	主にTOHO Globalの会社分割の影響(詳細p6、7)
営業利益	19,339	13,869	△5,470	△28.3%	
営業外収益	470	483	13	2.8%	主にFIFTH SEASONの業績改善
営業外費用	881	609	△271	△30.8%	
経常利益	18,929	13,743	△5,185	△27.4%	
特別利益	—	—	—	—	
特別損失	574	520	△53	△9.3%	27/2期1Qに固定資産解体費用が発生
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11,565	8,196	△3,369	△29.1%	

セグメント別業績一覧

[更新]

	(百万円)	2026年2月期 1Q	2027年2月期 1Q	増減	増減要因 (上段:営業収入、下段:営業利益)
 映画事業	営業収入	40,274	43,381	3,107	- 当社グループ・他社配給作品のヒットにより、映画興行等が好調 - 増収に伴い増益
	営業利益	9,046	9,598	552	
	利益率	22.5%	22.1%	△0.3ポイント	
 IP・アニメ事業	営業収入	18,999	18,255	△744	TOHO Globalの会社分割の影響により、減収減益(p6、7参照)
	営業利益	6,335	520	△5,815	
	利益率	33.3%	2.8%	△30.5ポイント	
 演劇事業	営業収入	5,117	5,908	791	主催公演作品が好調だったこと等から前年同期比で増収増益に
	営業利益	70	475	405	
	利益率	1.4%	8.1%	6.7ポイント	
 不動産事業	営業収入	20,149	20,425	276	- 不動産保守・管理事業において新規受注が獲得できたこと等により増収 - 道路事業において前年同期にあった価格スライドの影響が剥落。減益に
	営業利益	5,960	5,556	△404	
	利益率	29.6%	27.2%	△2.4ポイント	
その他事業	営業収入	338	772	434	- 新たにTOHO-ONEの会費収入を計上した等により増収 - TOHO-ONEのポイント施策に伴う販売促進費計上等により、減益に
	営業利益	45	△22	△68	
	利益率	13.4%	△3.0%	△16.3ポイント	
調整額		△2,118	△2,258	△139	減価償却費の増加等
合計	営業収入	84,878	88,742	3,864	—
	営業利益	19,339	13,869	△5,470	—

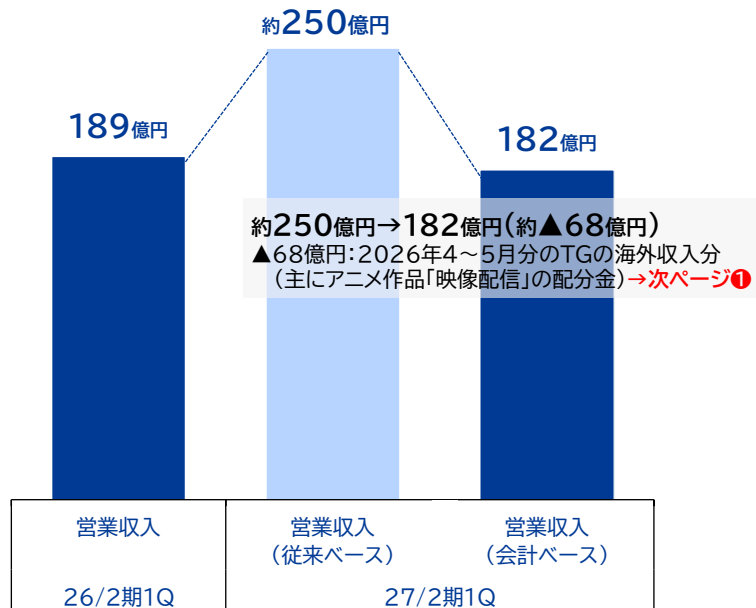
事業セグメント別の構成比(調整額を除く)



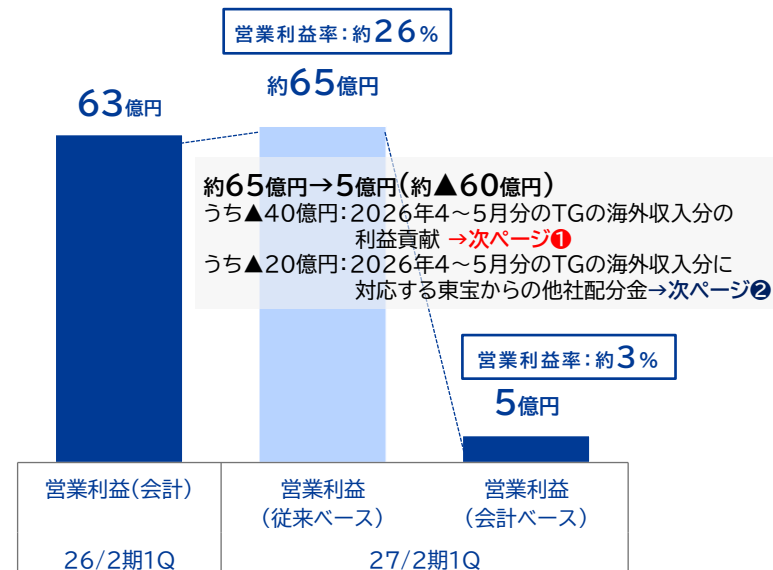
IP・アニメ事業の1Q業績について(解説)

- 2026年3月実施の会社分割により、3月以降の海外収益の計上主体が東宝からTOHO Global(TG)に変更
- 東宝とTGの決算期の違いから、会計上の連結調整が発生
- 連結調整前(会社分割前の従来ベース)では配分金増加もあり増収増益。IP・アニメ事業は順調に推移している
- 現時点では、IP・アニメ事業の27/2期通期業績(期初予想)に変更なし

1Q営業収入YoY比較



1Q営業利益YoY比較



IP・アニメ事業の1Q業績について(詳細)

[新規]

- 海外セールスを担う子会社TOHO Global (TG)が海外収益を直接認識できるように会社分割を2026年3月に実施
- 決算期が東宝(2月)とTG(12月)で異なることから、連結調整が発生する

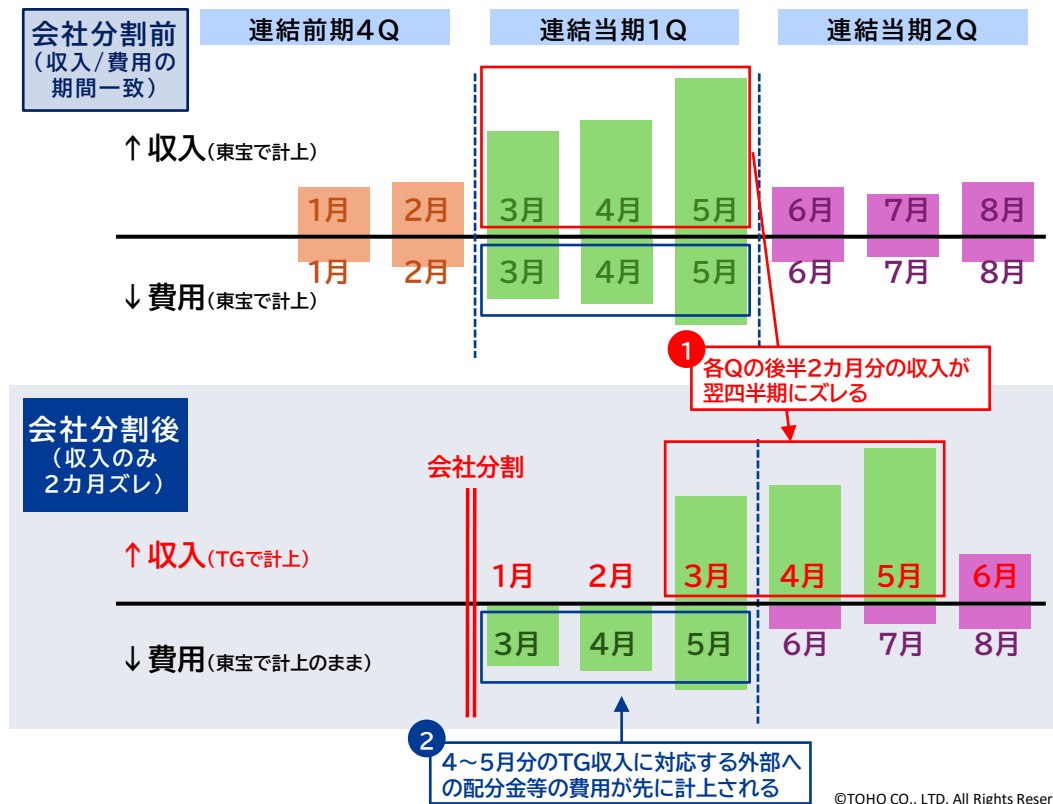
海外収益の計上主体および役割分担の比較

	2026年2月まで	2026年3月以降
事業主体	東宝 (TGは業務受託)	TOHO Global (直接セールス)
事業主体の決算月	2月	12月
海外事業の役割	海外セールスは東宝からTGへ業務委託	TGが直接、海外セールスを担う
営業収入の認識方法	東宝が営業収入を計上。TGは東宝からの業務受託料を計上	TGが営業収入を計上。東宝はTGから配分金を受領し、製作委員会に配分

参考: 連結子会社への会社分割(簡易吸収分割)に関するお知らせ (26/1/14公表)

海外収益における会社分割前・後の収入/費用計上の比較

※下図はイメージであり、棒の高さは実際の収入・費用の額を反映していない。



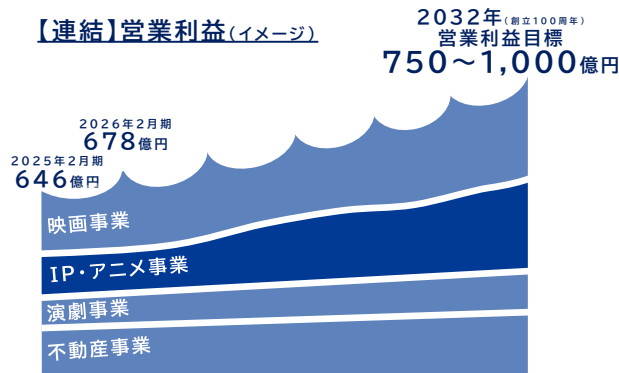
IP・アニメ事業：2032年の目標達成に向けた成長ドライバー

[更新(2032年目標の内訳イメージを追加)]

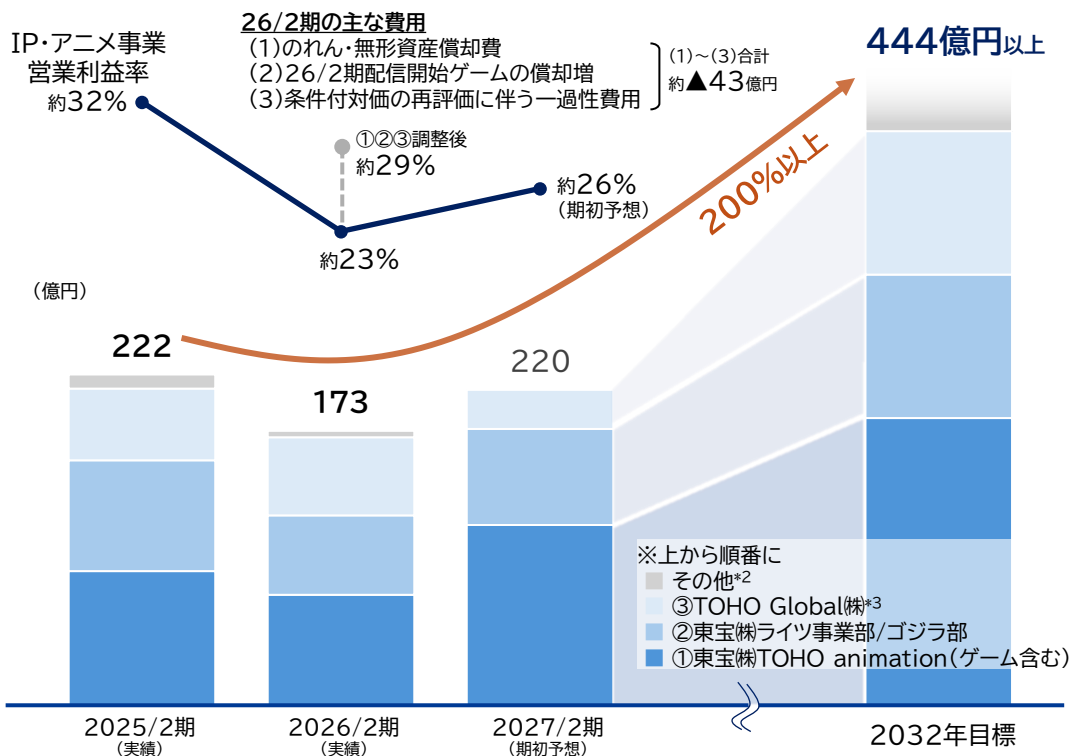
- 2032年のIP・アニメ事業の営業利益目標：
2025/2期222億円比の**200%以上**
- 国内の①TOHO animation(ゲーム含む)及び
②ライツ事業部/ゴジラ部、海外の③TOHO
Globalが成長のカギ

IP・アニメ事業の構成要素	
国内	海外
①TOHO animation	③TOHO Global*3
②ライツ事業部/ゴジラ部	
その他*2	

【連結】営業利益(イメージ)



【IP・アニメ事業】営業利益(イメージ)*1



*1 2027/2期までの棒グラフ内訳は各事業の単純合算ベース(のれん・無形資産の償却や連結調整前)。合計値は連結調整後

*2 ㈱TOHO animation STUDIO、㈱サイエンスSARU、㈱東宝ステラ/東宝ミュージック㈱

*3 TOHO Global(株)、Toho International, Inc.、TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd.、GKIDS, INC.、TOHO Europe Limited、Anime Limited

映画事業:トピックス

[新規]

TOHOシネマズ 映画鑑賞料金を改定

- ・2026年7月1日より一部改定:劇場運営を取り巻くコスト環境の変化を受け、今後も安定的にサービスを提供していくため改定
- ・全国一律の鑑賞料金 → 各劇場の立地特性・設備環境を踏まえた料金体系へ
- ・期初業績予想にはこの影響を織り込んでいない

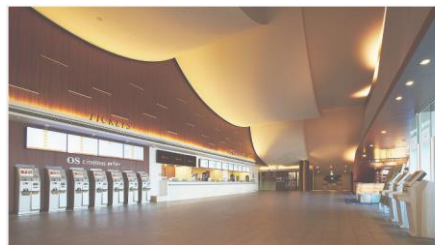
料金体系別の主な改定額

- | |
|--------------------------|
| ① 一般+200円、学生/シニア+100円 |
| ② 一般/学生/シニア+100円 |
| ③ 一般/学生の改定はなし、シニアのみ+100円 |

※主な改定内容料金の詳細は各劇場ホームページの「劇場からのお知らせ」ご参照
 ※TOHOシネマズ与次郎(2026年8月6日閉業)は適用外

オーエス・シネブラザーズの株式を取得

- ・TOHOシネマズは10月に、神戸を中心に映画館を運営するオーエス・シネブラザーズ(株)の全株式を取得予定
 - OSシネマズ ミント神戸(8スクリーン)、OSシネマズ 神戸ハーバーランド(10スクリーン)が新たに加わる
 - 西宮OSも完全直営へ:オーエス(株)との共同経営から、同社子会社のオーエス・シネブラザーズ(株)への事業移管により完全直営へ



OSシネマズミント神戸



OSシネマズ神戸ハーバーランド

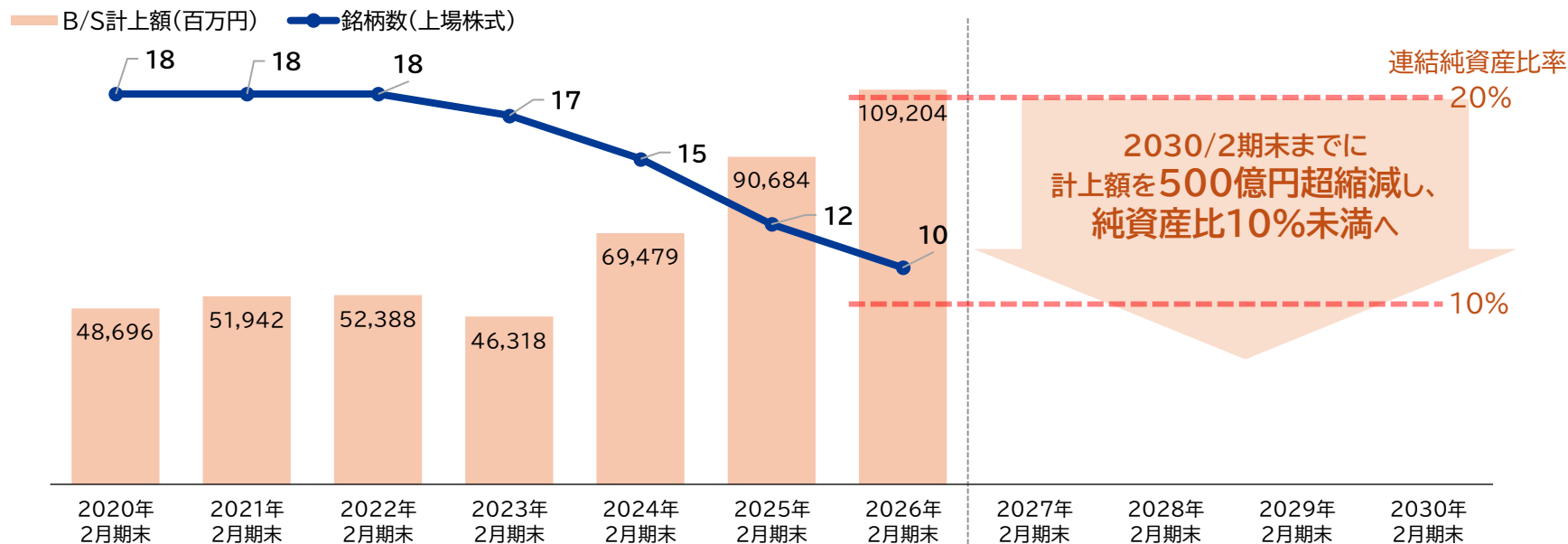
OSシネマズ公式サイト(<https://www.oscinemas.net/cgi-bin/pc/index.cgi>)

政策保有株式の縮減方針:2030/2期末までに500億円超縮減し、純資産比10%未満へ

[新規]

目標:2030/2期末までに、政策保有株式の計上額を500億円超縮減し、連結純資産比率10%未満に引き下げる

- 2030/2期末に向けて段階的かつ確実に売却する
- 2027/2期末までに、連結純資産比率20%未満に向け確実に売却する（※売却益は27/2期初業績予想に織り込みなし）
- 売却資金は、成長投資に優先配分しつつ、資本効率向上のための株主還元の原資として活用する



※B/S計上額は、上場株式+非上場株式+みなし保有の合計

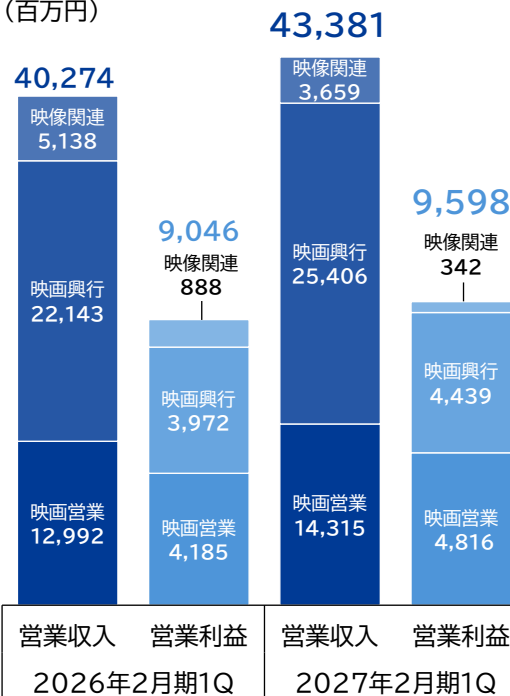
業績ハイライト

映画事業セグメントの業績

[更新(差異要因説明を追加)]

映画営業、映画興行が好調に推移したこと等から、前年同期と比べ増収増益

(百万円)



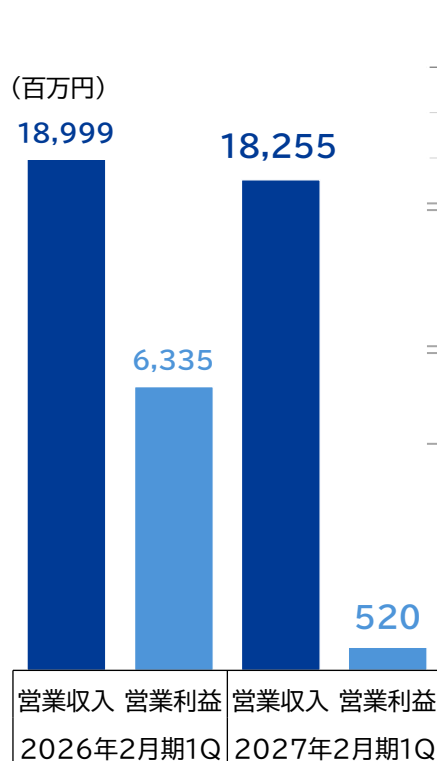
		2026年2月期				2027年2月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
映画営業	営業収入	12,992	25,784	17,515	8,075	14,315			
	営業利益	4,185	7,145	6,270	1,129	4,816			
映画興行	営業収入	22,143	31,707	23,095	20,638	25,406			
	営業利益	3,972	6,749	3,877	1,980	4,439			
映像関連	営業収入	5,138	5,942	4,246	5,335	3,659			
	営業利益	888	252	458	392	342			
参考	配給収入 (東宝等の配給作品)	10,638	23,260	15,089	6,069	12,110			
	映像の利用・許諾	2,063	2,016	2,096	1,612	1,695			
	興行収入 (TOHOシネマズ等)	17,627	25,503	18,392	15,736	19,286			
	映画館入場者数 (千人)	10,969	16,401	11,574	10,058	12,005			

- 鬼滅の刃、国宝、チェンソーマン等がヒット(+)
- 配給収入減少の影響、映画宣伝費等の費用を計上(一)
- 映画興行の好調に伴う期末賞与の支給等(一)
- 他社幹事大型ヒット作からの製作出資収入の減少(一)
- TOHO Global会社分割の影響(一)

IP・アニメ事業セグメントの業績

[更新(のれん・無形資産償却額、販管費を新規追加)]

TOHO Globalの会社分割の影響等により減収減益に(詳細はp6-7)



	(百万円)	2026年2月期				2027年2月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業収入		18,999	18,314	18,478	19,472	18,255			
営業利益		6,335	4,363	4,490	2,106	520			
営業利益率		33.3%	23.8%	24.3%	10.8%	2.8%			
分解情報	映像の利用・許諾	9,065	6,584	9,172	9,290	7,320			
	商品化権の利用・許諾	4,286	3,805	3,643	4,169	2,494			
	商品の販売	3,973	5,673	4,269	4,138	5,386			
参考	のれん・無形資産償却額	532	512	519	536	568			
	販管費(IP・アニメ事業)	3,898	4,504	4,190	6,347	5,786			

※26/2期1Qよりののれん・無形資産の償却本格化、及び販管費が増加に(海外子会社の連結や成長投資)

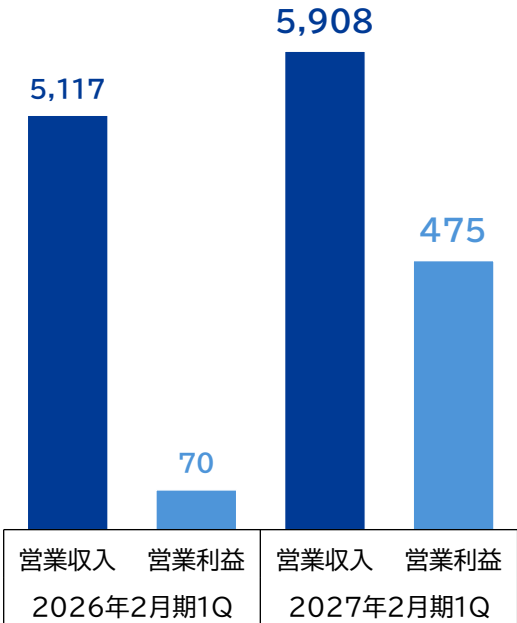
- | | |
|---|---|
| ① ゴジラの海外の商品化権収入(+) | ⑤ TOHO Global会社分割の影響(p6-7参照)(-) |
| ② 劇場パンフ/グッズ販売好調、カードゲーム等(+) | ⑥ パンフレット、劇場グッズ等の販売好調等(+) |
| ③ ・26/2期配信開始ゲームの償却増(-)
・条件付対価の再評価に伴う一過性費用(-) | ⑦ 新規連結の海外子会社(Anime Limited)の償却開始と円安の影響(-) |
| ④ 条件付対価の再評価に伴う一過性費用の計上増等(-) | ⑧ 海外子会社(Anime Limited)の買収に係る一過性の費用発生等(-) |

演劇事業セグメントの業績

[更新]

主催公演作品が好調だったこと等から増収増益に

(百万円)



(百万円)	2026年2月期				2027年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業収入	5,117	5,580	6,654	4,957	5,908			
営業利益	70	926	1,576	889	475			
参考 公演回数	254	176	298	175	398			

業績分析(ＹｏＹ増減要因)

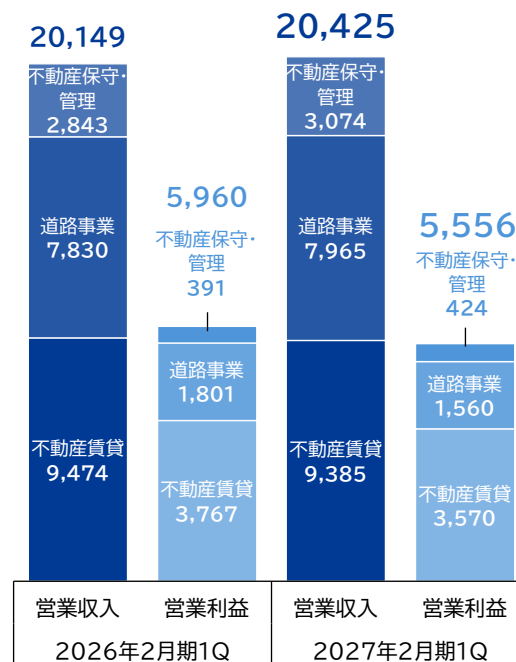
シアタークリエ(「レベッカ」「VOICARION 10周年記念公演」「ブラッド・ブラザーズ」等)や、外部の劇場(「チャーリーとチョコレート工場(ウェスタ川越、日生劇場)」「メリー・ポピンズ(東急シアターオーブ、梅田芸術劇場)」「アイ・ラブ・坊っちゃん(明治座)」等)を活用した主催公演作品が好調だったこと等から、増収増益は増収の要因に加え、借館料等の公演に係る費用等の減少等もあり、前年同期と比べ増益に

不動産事業セグメントの業績

[更新]

営業収入は堅調に推移。一方、営業利益は道路事業において前年同期にあった価格スライドの影響が剥落したこと等から減益に

(百万円)



		2026年2月期				2027年2月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
不動産賃貸	営業収入	9,474	9,419	9,433	9,450	9,385			
	営業利益	3,767	3,177	3,123	2,812	3,570			
道路事業	営業収入	7,830	6,821	6,571	8,387	7,965			
	営業利益	1,801	977	812	1,271	1,560			
不動産保守・管理	営業収入	2,843	2,924	3,356	2,663	3,074			
	営業利益	391	347	330	215	424			
参考	修繕費*	276	249	331	660	233			

*不動産賃貸事業(単体)

業績分析(YoY増減要因)

不動産賃貸

全国に所有する不動産が堅調に稼働したこと等により営業収入は堅調に推移。営業利益は若干の減益に

道路事業

大規模な橋梁補修工事が順調に進捗したこと等により、増収となったものの、前年同期に計上された価格スライド分の剥落等が影響し、減益

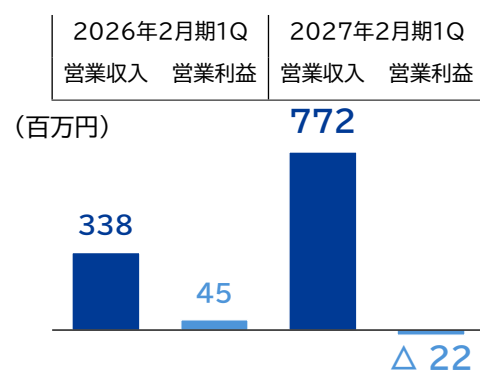
不動産保守・管理

東宝ビル管理(株)及び東宝ファシリティーズ(株)において、新規業務の受注や既存取引先の仕様拡大及び請負金額の改定等に努めた結果、増収増益

その他事業の業績 / 調整額

[新規]

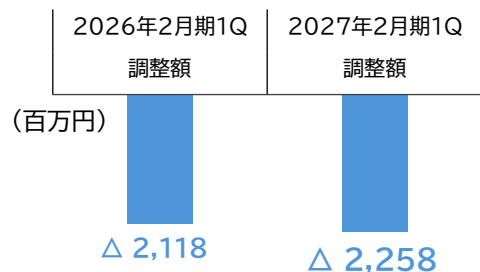
その他事業 ※主にTOHO-ONEの会費収入。他に東宝共栄企業㈱の「東宝調布スポーツパーク」、TOHOリテール㈱の劇場売店等の営業収入が含まれる



営業収入は、新たにTOHO-ONEの会費収入を計上した等により増収
営業利益は、TOHO-ONEのポイント施策に伴う販売促進費を計上したこと等から、減益に

	2026年2月期				2027年2月期			
(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
営業収入	338	303	335	314	772			
営業利益	45	26	57	△62	△22			

調整額 ※セグメント別業績における調整額であり全体の共通費用。TOHO-ONEの初期投資額の減価償却費(原則5年間で償却)が含まれる



TOHO-ONEのサービス開始に伴い、減価償却費等が増加

	2026年2月期				2027年2月期			
(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
調整額	△2,118	△2,159	△2,053	△2,938	△2,258			

2027年2月期通期業績(期初予想数値から1Q時点で修正なし)

[更新(数値更新はなし、織り込み前提を追記)]

(百万円)	2026年2月期 (実績)	2027年2月期 (期初予想)		営業収入 (百万円)	2026年2月期 (実績)	2027年2月期 (期初予想)
営業収入	360,663	345,000	→	映画事業	182,617	165,800
営業利益	67,889	62,000	→	映画営業	64,368	60,700
経常利益	70,140	67,000		映画興行	97,585	88,700
親会社株主に帰属 する当期純利益	51,768	41,000		映像関連	20,663	16,400
				IP・アニメ事業	75,265	84,100
				演劇事業	22,310	15,300
				不動産事業	79,179	75,700
				不動産賃貸	37,779	36,900
				道路事業	29,611	28,600
				不動産保守・管理	11,788	10,200
				その他事業	1,291	4,100
				営業利益 (百万円)	2026年2月期 (実績)	2027年2月期 (期初予想)
				映画事業	37,302	33,000
				IP・アニメ事業	17,296	22,000
				演劇事業	3,463	2,000
				不動産事業	19,030	18,000
				その他事業	66	△1,000
				調整額	△9,270	△12,000

期初予想数値の織り込み前提

・織り込みなし:

実現後は、(+)期初予想に対し上振れ要因、(-)期初予想に対し下振れ要因

- TOHOシネマズの映画鑑賞料金改定(+)
- 保有不動産の売却(収益への影響が軽微な一部物件)(+)
- 政策保有株式の一部売却(+)
- TOHO Global会社分割の一部影響(-)

・持分法による投資損益:不確実性を加味し、例年並みの織り込み

・特別損益:固定資産解体費用20億円を織り込み

Appendix 1 業績/見通し

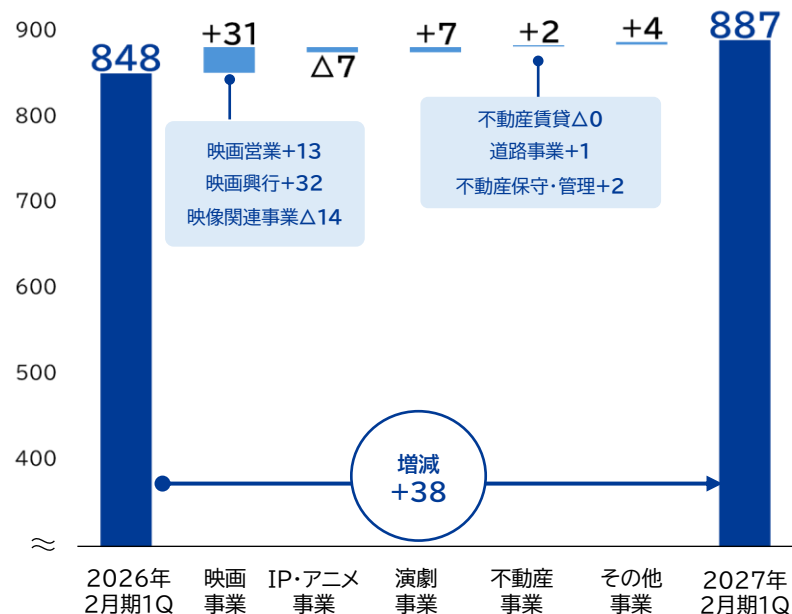
営業収入・営業利益の増減

[更新]

営業収入

(億円)

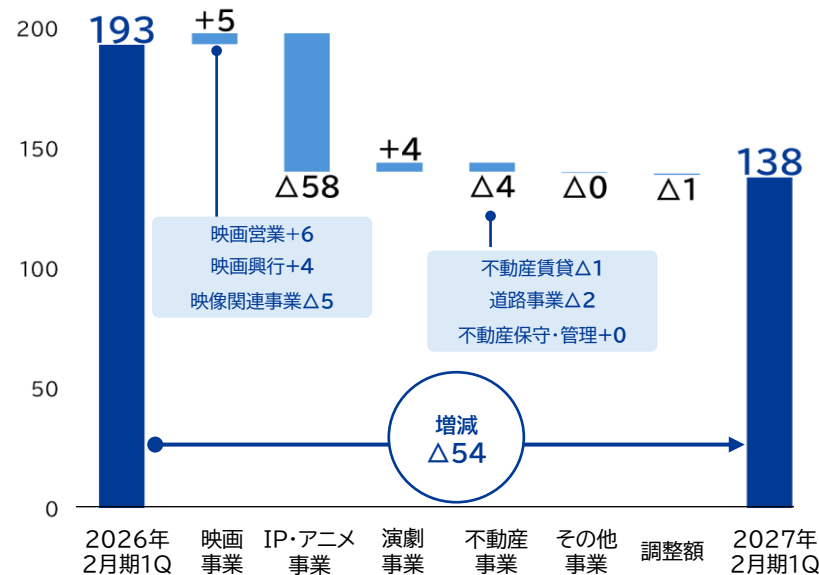
1,000



営業利益

(億円)

250



セグメント別 営業利益率の推移

[更新]

(%)

	2022年2月期					2023年2月期					2024年2月期					2025年2月期					2026年2月期					2027年2月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	累計
全社	18.2	18.2	13.3	19.7	17.5	23.1	20.0	16.6	14.0	18.4	24.7	19.0	17.1	22.0	20.9	28.6	21.0	16.9	15.0	20.7	22.8	20.4	21.1	9.8	18.8	15.6	15.6
映画事業	16.1	18.8	9.3	22.6	17.2	23.4	20.7	15.5	14.2	18.4	25.8	22.0	16.5	26.6	23.2	33.5	25.2	17.3	18.5	24.3	22.5	22.3	23.6	10.3	20.4	22.1	22.1
映画営業※1	21.9	26.4	22.2	41.9	28.5	40.9	35.9	34.3	22.3	33.1	41.8	35.9	23.6	46.9	38.5	50.0 47.6	39.0 33.7	28.8 18.9	29.8 32.6	39.5 36.3	32.2	27.7	35.8	14.0	29.1	33.6	33.6
映画興行	2.3	5.7	—	7.1	2.9	12.0	15.4	3.7	8.4	10.4	20.1	16.2	6.7	10.2	14.1	17.8	15.5	4.7	11.3	12.9	17.9	21.3	16.8	9.6	17.0	17.5	17.5
映像関連※1	24.7	28.5	18.5	27.5	25.1	22.4	19.3	15.3	15.2	17.7	19.4	20.1	21.0	28.6	23.2	34.0 15.9	23.4 1.7	21.6 9.3	19.3 8.2	24.4 8.9	17.3	4.3	10.8	7.3	9.6	9.4	9.4
IP・アニメ事業※1																42.7	34.9	29.6	21.4	32.0	33.3	23.8	24.3	10.8	23.0	2.8	2.8
演劇事業	16.8	18.0	24.5	0.5	25.3	16.2	9.6	20.5	12.5	15.2	22.5	1.2	20.6	15.2	15.5	19.2	4.9	20.6	24.0	18.0	1.4	16.6	23.7	17.9	15.5	8.1	8.1
不動産事業	29.6	23.6	23.5	24.4	25.3	29.7	27.5	25.8	22.2	26.3	29.4	24.2	25.8	22.5	25.5	23.2	21.8	22.8	16.9	21.1	29.6	23.5	22.0	21.0	24.0	27.2	27.2
不動産賃貸	46.6	40.7	42.4	43.1	43.2	43.6	43.8	42.2	35.4	41.2	45.4	37.6	38.0	36.8	39.4	30.1	30.6	32.0	20.6	28.3	39.8	33.7	33.1	29.8	34.1	38.0	38.0
道路事業	21.0	11.0	10.8	14.3	14.5	24.1	16.5	14.7	14.2	17.6	21.0	14.6	18.7	12.6	16.8	19.2	14.1	14.7	15.0	15.9	23.0	14.3	12.4	15.2	16.4	19.6	19.6
不動産 保守・管理	9.0	10.7	2.7	7.2	7.4	9.0	9.0	9.6	9.5	9.3	9.0	12.8	9.9	10.7	10.7	12.1	10.1	12.4	10.0	11.2	13.8	11.9	9.8	8.1	10.9	13.8	13.8

※1 「映像関連事業」は2025年2月期までは「映像事業」。2026年2月期より「IP・アニメ事業」を新設したことに伴い、映画営業と映像事業の一部を「IP・アニメ事業」に移管

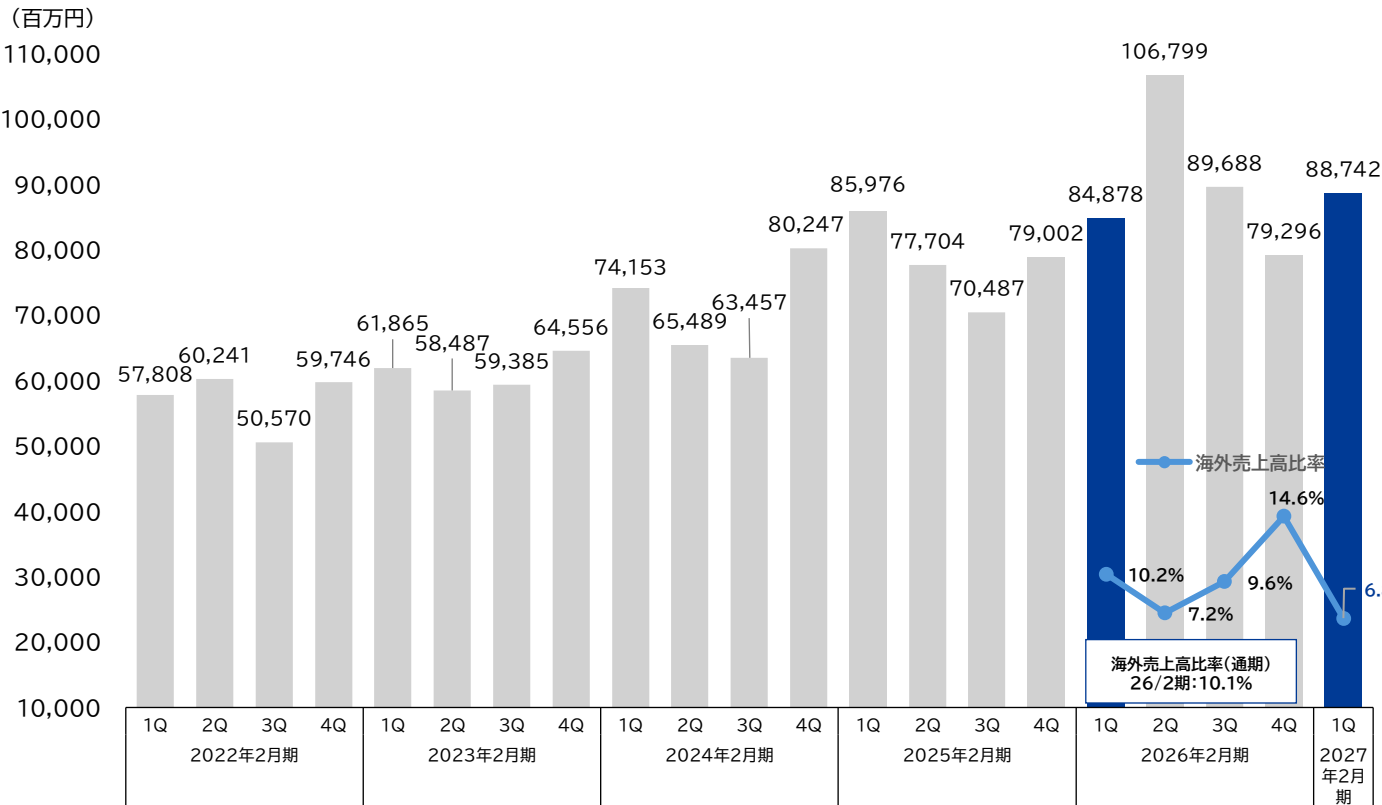
※2 営業利益率: マイナスは「-」で表示

※3 2023年2月期より「収益認識に関する会計基準」を適用

※4 2025年2月期のイタリック数値は、セグメント変更後の2025年2月期の営業利益率を示す

営業収入推移(四半期)

[更新]



各四半期の主な要因

2027年2月期1Q

- 当社グループ配給作品や他社配給作品(「ブラダを着た悪魔2」)等のヒットにより、映画興行や映画営業が好調

2026年2月期4Q

- GKIDSが北米で配給した「劇場版 呪術廻戦「渋谷事変 特別編集版」×「死滅回遊 先行上映」」がヒット

2026年2月期3Q

- 「チェンソーマン レゼ篇」「鬼滅の刃」等のヒットにより、映画営業事業と映画興行事業が好調に推移

2026年2月期2Q

- 「鬼滅の刃」「国宝」のヒットにより、映画営業事業と映画興行事業が大きく伸長

2026年2月期1Q

- 「ゴジラ」の商品化権や「薬屋のひとりごと」「僕のヒーローアカデミア」等の配信権収入が貢献

2025年2月期4Q

- GKIDSのグループイン(24年10月)による貢献開始

2025年2月期3Q

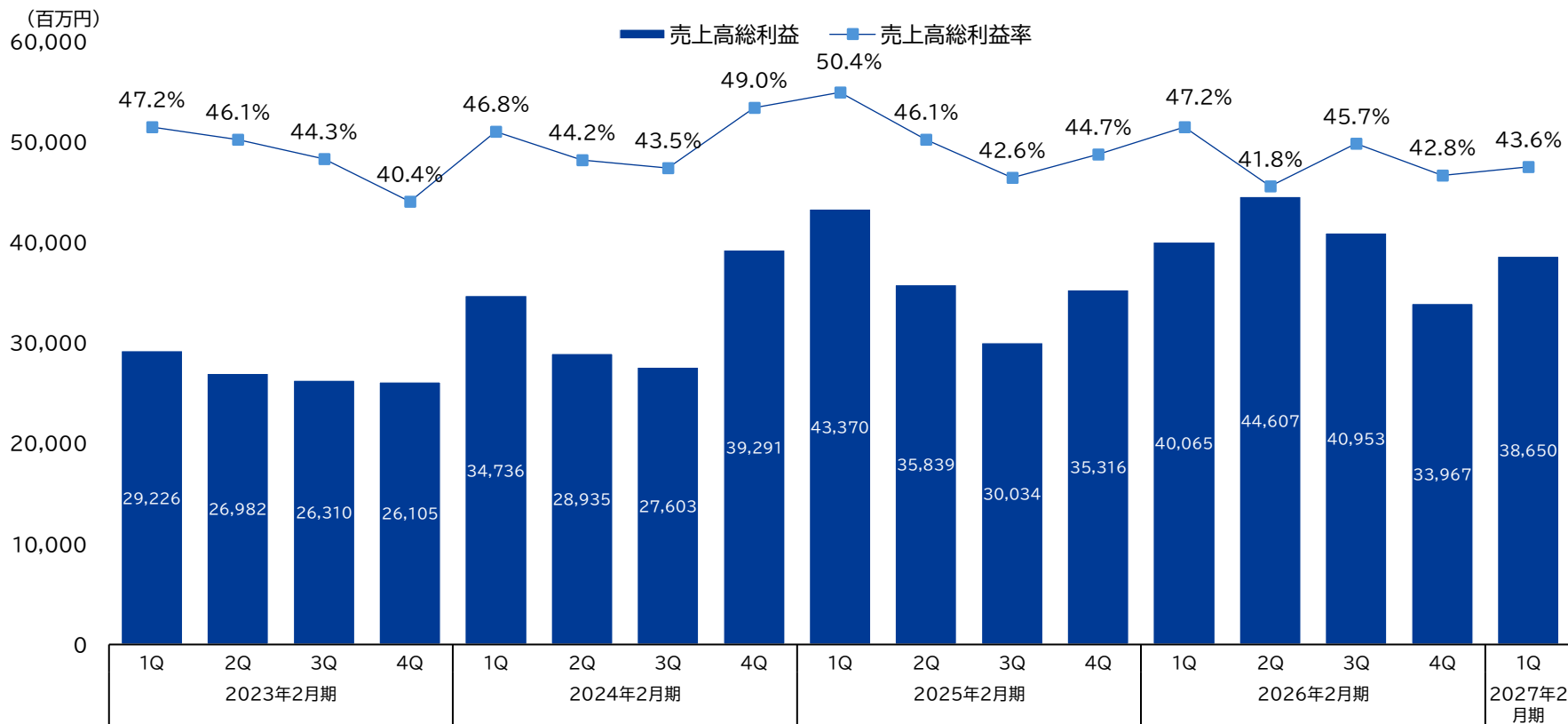
- キャラクターライセンス(呪術廻戦等)が好調
- サイエンスSARUのグループイン(24年6月)による貢献開始

2025年2月期2Q

- 「ゴジラ-1.0」の配信権収入(海外)が貢献
- 商品物販(ハイキュー!!等)やキャラクターライセンス(呪術廻戦等)が好調
- 帝国劇場クロージングラインナップが好調(25/2期4Qにかけて貢献)

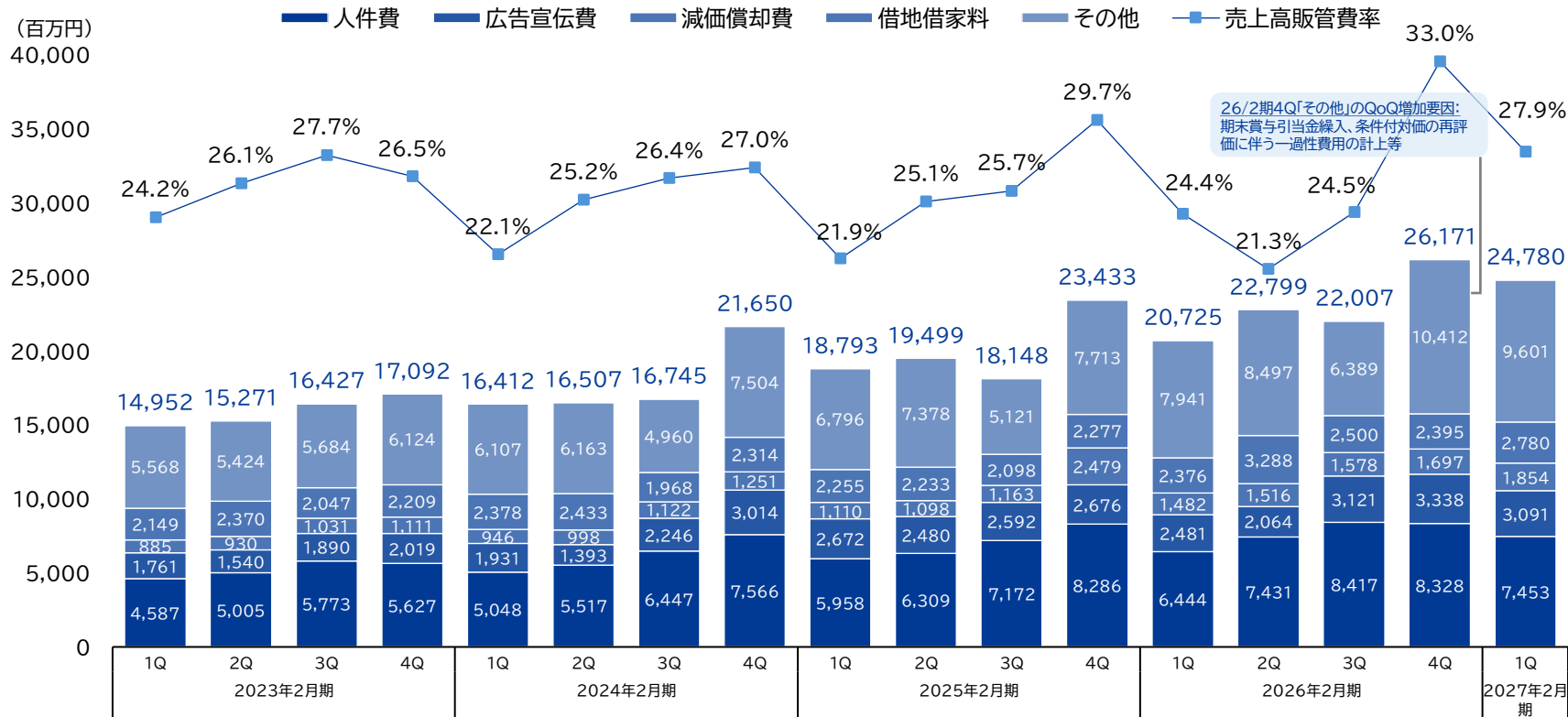
売上高総利益の推移(四半期)

[更新]



連結販管費の推移(四半期)

[更新]

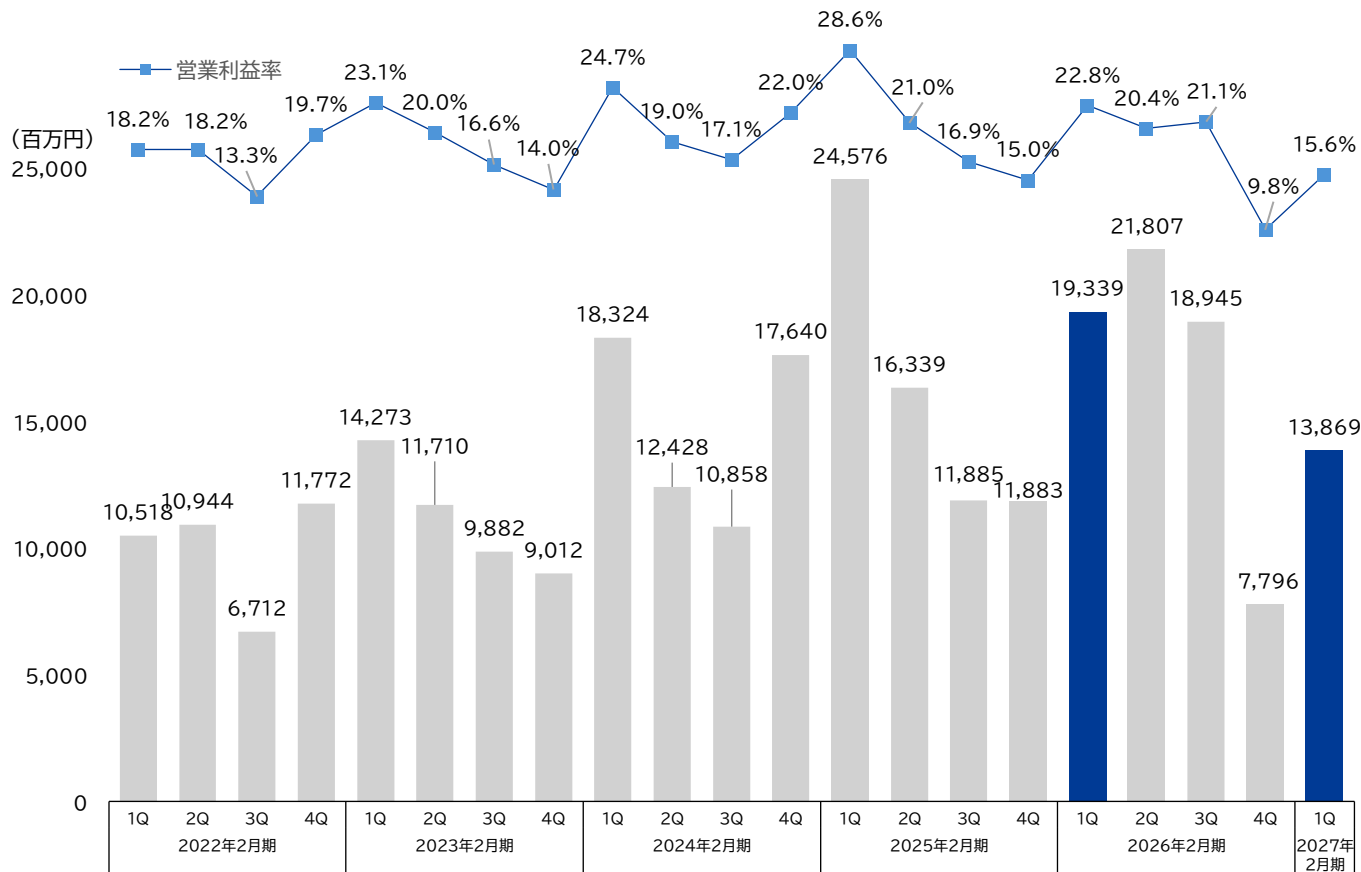


※その他:業務委託費、水道光熱費、保守清掃料(主にシステム保守費)、退職給付費用、賞与引当金繰入額等

※端数調整処理の関係で内訳の合計値が一致しない場合がある

営業利益推移(四半期)

[更新]



各四半期の主な要因

2027年2月期1Q

- TOHO Globalの会社分割の影響

2026年2月期4Q

- 26/2期配信開始ゲームの償却増
- 条件付対価の再評価に伴う一過性費用

△22億円

2026年2月期3Q

- 「8番出口」「チェンソーマン レゼ篇」等のヒットが映画営業事業と映画興行事業に貢献

2026年2月期2Q

- 「鬼滅の刃」「国宝」のヒットにより、映画営業事業と映画興行事業が大きく伸長

2026年2月期1Q

- 「ゴジラ」の商品化権や映画のひとりとこと「僕のヒーローアカデミア」等の配当収入が貢献

2025年2月期4Q

- 帝劇ビルの解体工事にかかる一時的な費用を計上
- GKIDSのグループイン(24年10月)により、のれん/無形資産の償却開始

2025年2月期3Q

- キャラクターライセンス(呪術廻戦等)が貢献
- サイエンスSARUのグループイン(24年6月)により、のれん/無形資産の償却開始

2025年2月期2Q

- 「ゴジラ-1.0」の配信権収入(海外)が貢献
- 商品物販(ハイキュー!!等)やキャラクターライセンス(呪術廻戦等)が好調
- 帝国劇場クロージングラインナップが好調(25/2期4Qも継続)

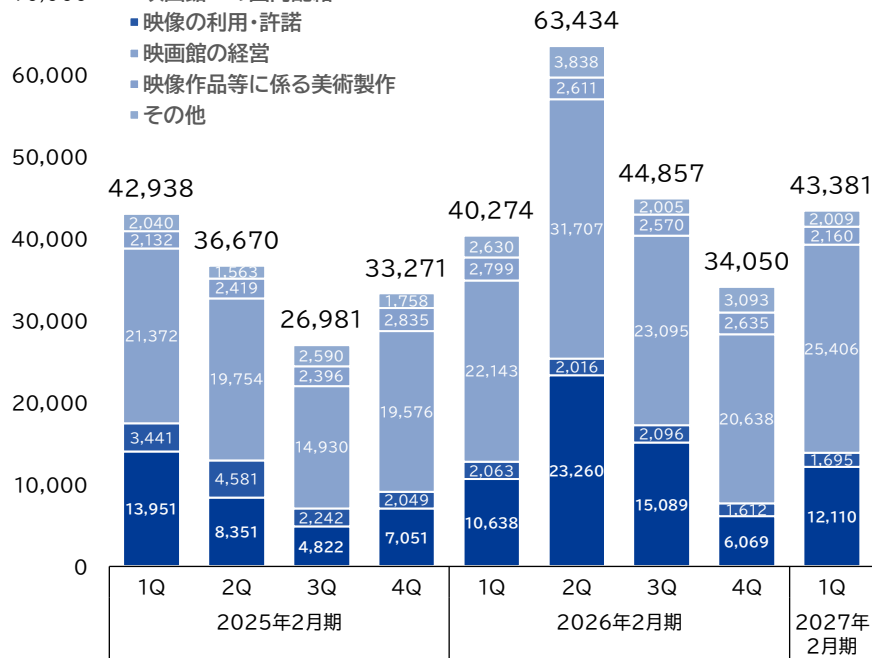
収益の分解情報(映画事業、IP・アニメ事業)(四半期)

[更新]

(百万円)

※棒グラフの下から順に

- 映画館への国内配給
- 映像の利用・許諾
- 映画館の経営
- 映像作品等に係る美術製作
- その他

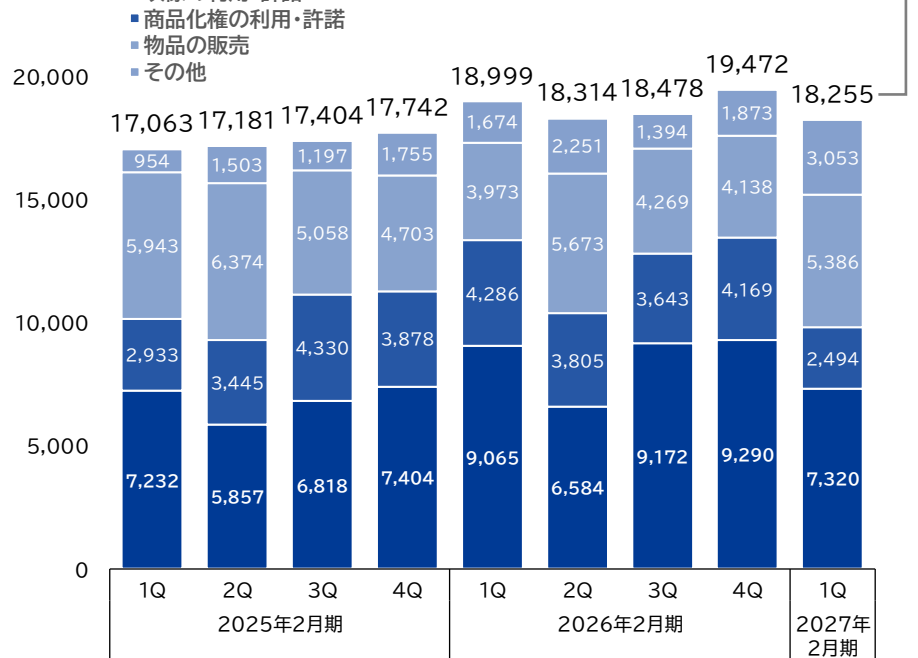


映画事業

(百万円)

※棒グラフの下から順に

- 映像の利用・許諾
- 商品化権の利用・許諾
- 物品の販売
- その他



IP・アニメ事業

TOHO animationのソース別営業収入・国内外構成比

[更新]

・連結調整(会社分割、詳細p6-7)により、連結調整前(従来ベース)の1Qの海外向け営業収入の一部が2Qへ
 ・下記の1Q合計9,287百万円は、連結調整前(従来ベース)では16,102百万円と試算
 ・配信の海外売上でオーバレッジ(超過収益)が発生も、連結調整により翌2Qに計上

ソース別営業収入

(百万円) ソース名と主な内容	2026年2月期 1Q	2027年2月期 1Q	増減	増減率	主な増減要因	構成比
配信 (配信利用料収入)	6,801	4,868	△1,933	△28.4%	前年同期は「薬屋のひとりごと」「ハイキュー!!」「僕のヒーローアカデミア」等が貢献	52.4%
キャラクターライセンス (ライセンス窓口収入)	2,290	1,687	△603	△26.3%	前年同期は「ハイキュー!!」「呪術廻戦」等が貢献	18.2%
商品物販 (物販収入)	816	699	△117	△14.3%	「僕のヒーローアカデミア」が好調だったが、前年同期は「ハイキュー!!」等が伸長	7.5%
パッケージ (Blu-ray等の販売収入)	221	428	206	93.2%	「葬送のフリーレン」「呪術廻戦」等が好調	4.6%
ゲーム (主に協業作品の配分金収入)	409	745	335	82.1%	「呪術廻戦 ファントムパレード」「天穂のサクナヒメ～ヒメカ巡霊譚～」が貢献	8.0%
配分金その他 (主に他社窓口作品の配分金収入)	1,208	857	△351	△29.0%	「僕のヒーローアカデミア」のイベントが好調だったが、前年同期は「ハイキュー!!」のイベントや「Dr.STONE」の配分金等が貢献	9.2%
合計	11,749	9,287	△2,461	△21.0%		
参考:劇場公開(国内)	135	19	△116	△85.9%	前期は劇場版総集編「呪術廻戦 懐玉・玉折」を劇場公開	

国内外構成比 (劇場公開(国内)を除く)

(百万円)	2026年2月期 1Q	2027年2月期 1Q	増減	増減率	主な増減要因	構成比
国内	7,764	7,260	△504	△6.5%	ゲームやパッケージが好調だったが、前年同期は配信(「薬屋のひとりごと」「ハイキュー!!」等)が好調だった	78.2%
海外	3,984	2,027	△1,957	△49.1%	配信:前年同期は「僕のヒーローアカデミア」「薬屋のひとりごと」等が好調 キャラクターライセンス:前年同期は「呪術廻戦」等が貢献	21.8%

※ 本表の対象範囲は、TOHO animationレーベル及びこれに準ずる作品。当資料は、アニメ事業に関する開示情報の充実性の観点から自主的に作成したものであり、他の決算資料における数値とは整合しない場合がある
 ※ 各ソースの収益認識時期は次の通り。配信・キャラクターライセンス→知的財産を使用する権利の許諾開始時点、商品物販・パッケージ→顧客に商品を引き渡した時点、ゲーム・配分金→報告書受領時点、劇場公開→映画上映時点

IP・アニメ事業の内訳と分解数値

[更新]

IP・アニメ事業 組織別

国内	海外
TOHO animation	TOHO Global*2
ライツ事業部/ゴジラ部	
その他*1	

*1 株式会社TOHO animation STUDIO、株式会社サイエンスSARU、株式会社東宝ステラ/東宝ミュージック(株)

*2 TOHO Global(株)、Toho International, Inc., TOHO Entertainment Asia Pte. Ltd., GKIDS, INC., TOHO Europe Limited, Anime Limited

IP・アニメ事業 要素別

国内	海外
アニメ (TOHO animation/ライツ事業部)	アニメ (TOHO Global*2)
配信	配信
キャラクターライセンス	キャラクターライセンス
商品物販	商品物販
ゲーム	ゲーム
配分金 その他	その他
アニメ以外 (ライツ事業部)	アニメ以外 (TOHO Global*2)
他社アニメ作品や実写映画のグッズ・パンフレット等	実写の映像販売、商品物販
ゴジラ (ゴジラ部)	ゴジラ (TOHO Global*2)
配分金その他・配信・商品物販・キャラクターライセンス	配信・商品物販・キャラクターライセンス
制作会社	制作会社
(株)TOHO animation STUDIO	IGLOO STUDIO(持分法適用関連会社)
(株)サイエンスSARU	CJ ENM FIFTH SEASON(持分法適用関連会社)
その他子会社	その他子会社
(株)東宝ステラ	GKIDS Inc.
東宝ミュージック(株)	Anime Limited

- ・連結調整(会社分割、詳細p6-7)により、連結調整前(従来ベース)の1Qの海外向け営業収入の一部が2Qへ
- ・下記の1Q合計9,287百万円は、連結調整前(従来ベース)では16,102百万円と試算

TOHO animationソース別営業収入(p.26、28)

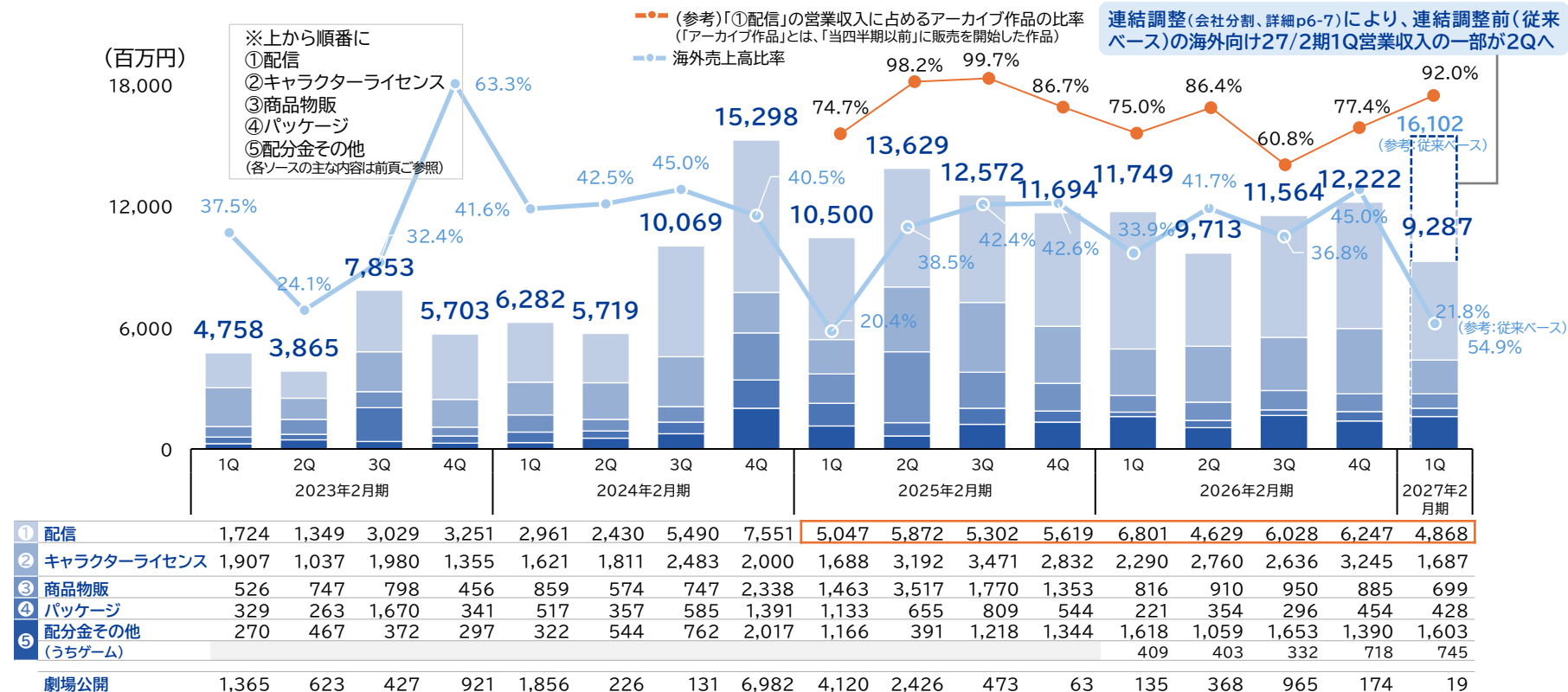
(百万円)	2026/2期 1Q	2027/2期 1Q	前期差
配信	6,801	4,868	△1,933
キャラクターライセンス	2,290	1,687	△603
商品物販	816	699	△117
パッケージ	221	428	206
ゲーム	409	745	335
配分金 その他	1,208	857	△351
合計	11,749	9,287	△2,461

IP・アニメ事業 収益分解情報(p.25)

(百万円)	2026/2期 1Q	2027/2期 1Q	前期差
映像の利用・許諾	9,065	7,320	△1,744
商品化権等の利用・許諾	4,286	2,494	△1,792
商品の販売	3,973	5,386	1,412
その他※	1,674	3,053	1,379
合計	18,999	18,255	△744

TOHO animationのソース別営業収入の推移(四半期)

[更新]



※ 2026年2月期より管理会計システムが変更となったため、過去の数値の集計方法とは異なる

※ ゲームはTOHO Gamesの幹事・協業作品

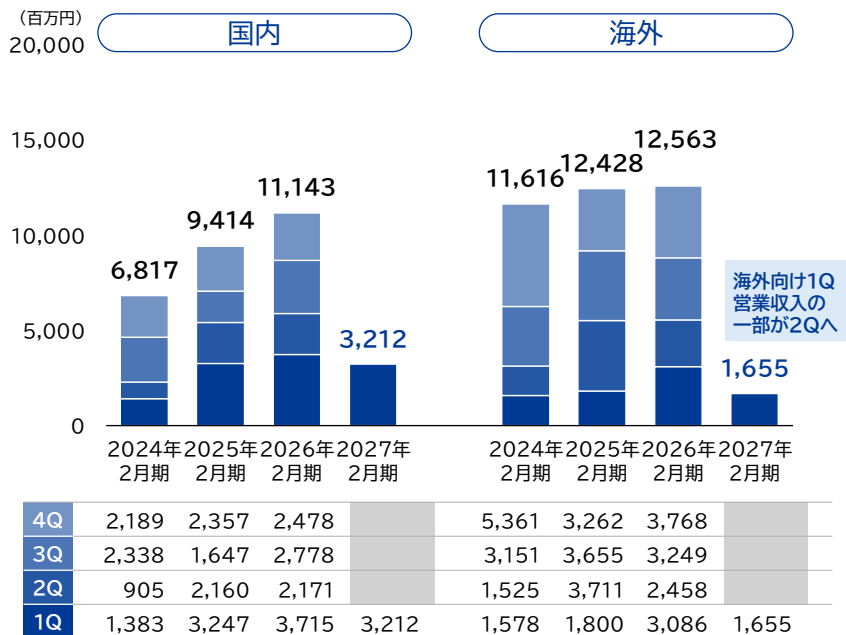
※ 海外売上高は主に「配信」と「キャラクターライセンス」に計上されている

TOHO animation 配信・キャラクターライセンス収入(四半期)

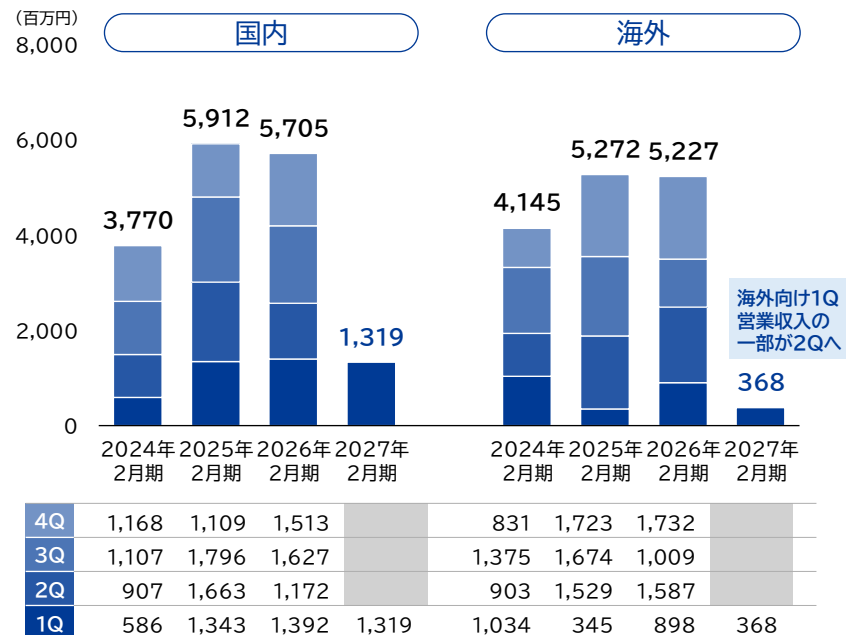
[更新]

- ・動画配信やキャラクターライセンスの収入が、アニメビジネスの堅調な成長を牽引
- ・連結調整(会社分割、詳細p6-7)により、連結調整前(従来ベース)の海外向け27/2期1Q営業収入の一部が2Qへ

配信収入



キャラクターライセンス収入



営業外収益・費用

[更新]

(百万円)				
	2026年2月期 1Q	2027年2月期 1Q	増減	主な増減要因
受取利息	107	189	82	—
受取配当金	21	37	16	—
為替差益	—	192	192	—
その他	342	64	△277	補助金収入減等
営業外収益 合計	470	483	13	—
支払利息	3	11	7	—
持分法による 投資損失	757	549	△208	FIFTH SEASON の業績改善等
為替差損	115	—	△115	
その他	5	49	44	—
営業外費用 合計	881	609	△271	—

(百万円)									
	2026年2月期				2027年2月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
受取利息	107	237	174	90	189				
受取配当金	21	1,208	11	780	37				
為替差益	—	—	3	124	192				
その他	342	231	30	1,165	64				
営業外収益合計	470	1,677	219	2,160	483				
支払利息	3	5	1	107	11				
持分法による 投資損失	757	214	557	583	549				
為替差損	115	3	△118	—	—				
その他	5	△2	36	6	49				
営業外費用合計	881	221	476	697	609				

セグメント別の減価償却費

[更新]

(百万円)

	2026年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q
映画事業	869	944	1,017	1,130
IP・アニメ事業	361	381	372	412
演劇事業	50	38	39	39
不動産事業	1,903	1,872	1,878	1,863
その他	9	10	10	10
調整額	158	160	167	168
合計	3,352	3,408	3,486	3,625

2027年2月期			
1Q	2Q	3Q	4Q
1,106			
427			
42			
1,833			
9			
303			
3,722			

※のれんの償却額を除く

特別利益・特別損失

[更新]

			(百万円)	
	2026年 2月期1Q	2027年 2月期1Q	増減	主な増減要因
固定資産解体費用	574	520	△53	不動産事業における解体 費用発生(帝劇ビル)
特別損失合計	574	520	△53	—

	2026年2月期				2027年2月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
固定資産売却益	—	—	—	—	—			
投資有価証券売却益	—	8,913	—	—	—			
その他	—	—	200	—	—			
特別利益合計	—	8,913	200	—	—			
減損損失	—	—	—	523	—			
固定資産圧縮損	—	—	—	—	—			
固定資産解体費用	574	115	—	760	520			
投資有価証券評価損	—	—	—	60	—			
立退保証金	—	—	—	—	—			
独占禁止法関連損失	—	—	1,059	258	—			
特別損失合計	574	115	1,059	1,602	520			

連結貸借対照表

[更新]

(百万円)

	2026年2月末	2026年5月末	増減	増減理由及び備考
流動資産	234,036	219,397	△14,639	有価証券△26,660、現金及び預金+8,209等 (参考)棚卸資産※1の残高:23,994
固定資産	468,897	471,395	2,497	
有形固定資産	247,927	249,344	1,416	建設仮勘定+620、建物及び構築物+494等
無形固定資産	30,739	33,179	2,440	ソフトウェア+4,769、のれん+2,013、その他△4,343
投資その他の資産	190,230	188,871	△1,359	投資有価証券△2,943、その他+1,579等 (参考)2026年5月末 投資その他の資産の内訳(投資有価証券161,260等)
資産合計	702,934	690,792	△12,141	
流動負債	95,252	101,456	6,203	買掛金+6,102、その他+7,294、未払法人税等△7,710等 (参考)短期借入金の残高:37、1年内返済予定の長期借入金の残高:300
固定負債	74,691	70,541	△4,150	その他△4,079等 (参考)長期借入金の残高:1,200
負債合計	169,943	171,997	2,053	
株主資本	446,986	431,984	△15,001	自己株式+20,219※2、利益剰余金△34,056等
その他の包括利益累計額	68,381	69,234	852	為替換算調整勘定+1,096等
非支配株主持分	17,622	17,576	△45	—
純資産合計	532,990	518,795	△14,195	
負債純資産合計	702,934	690,792	△12,141	
自己資本比率	73.3%	72.6%	△0.7ポイント	

※1 主に当社が製作する映画やアニメの製作品及び仕掛品を含む(製作出資映画については公開月に85%を償却、残り15%は翌半期に償却)

※2 2026年4月に自己株式の取得を実施(750万株)、同月に自己株式を消却(3,000万株)

セグメント別の仕掛品（連結B/S棚卸資産の一部）

[更新]

(百万円)

	2026年2月期				2027年2月期			
	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末
映画事業	6,813	5,557	6,583	6,171	8,366			
IP・アニメ事業	9,268	9,819	10,247	9,047	9,240			
演劇事業	74	80	87	109	123			
不動産事業	36	33	43	36	47			
仕掛品 合計	16,193	15,490	16,961	15,366	17,777			

連結キャッシュ・フロー計算書(累計)

[更新]

(百万円)

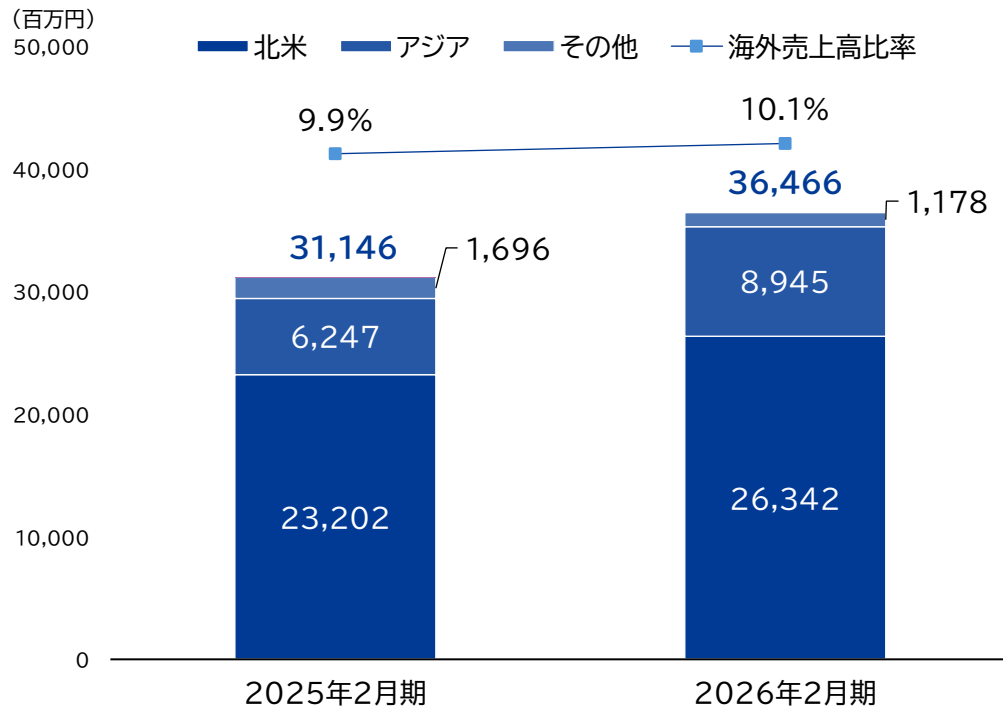
	2027年2月期 1Q	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	11,845	税金等調整前四半期純利益13,222、仕入債務の増減額(△は減少)5,747、減価償却費3,722、その他6,667、法人税等の支払額△14,161
投資活動による キャッシュ・フロー	3,742	有価証券の売却による収入24,500、有価証券の取得による支出△9,988、有形固定資産の取得による支出△5,830、その他△4,840
財務活動による キャッシュ・フロー	△23,571	自己株式の取得による支出△11,867、配当金の支払額△11,074
現金及び現金同等物に係る 換算差額	200	
現金及び現金同等物の増減額	△7,783	
現金及び現金同等物の期首残高	86,683	
現金及び現金同等物の四半期末 残高	78,899	

2026年2月期 海外売上高(通期実績)

[新規]

※本スライドは、4/14決算説明資料で未公表だった通期実績値を追加開示したものであり、当1Qの数値は含まれていない。

地域別売上高の推移



地域別売上高の構成比

	2025年2月期	2026年2月期
北米	74.5%	72.2%
アジア	20.1%	24.5%
その他	5.4%	3.2%

※売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類している

Appendix 2 各事業

映画事業：2027年2月期～ 東宝配給ラインナップ(7/15時点)

[更新(2026年7月15日時点)]

合計**38作品**(7/15時点)：うち幹事**7**、出資**16**。TOHO NEXT**10**作品

①幹事／共同幹事作品

②＝2026年6月末時点で国内興収10億円以上の作品

※下線部分は2026年4月「決算説明資料」からの更新箇所

東宝 配給作品

2027年2月期 作品名	公開日	①	②
ゴールデンカムイ 網走監獄襲撃編	26/3/13		✓
君が最後に遺した歌	3/20	✓	
映画 えんとつ町のプペル ～約束の時計台～	3/27		
劇場版「名探偵コナン ハイウェイの墮天使」	4/10		✓
人はなぜラブレターを書くのか	4/17		✓
SAKAMOTO DAYS	4/29		✓
君のクイズ	5/15		
箱の中の羊	5/29		
映画「おそ松さん 人類クズ化計画!!!!!!」	6/12		
魔女の宅急便(4Kデジタルリマスター)	6/19		
キングダム 魂の決戦	7/17		
映画ちいかわ 人魚の島のひみつ	7/24		
映画クレヨンしんちゃん 奇々怪々！ オラの妖怪バケ～ション	7/31		
ブルーロック	8/7		
劇場版「TOKYOMER ～走る緊急救命室～ CAPITAL CRISIS」	8/21		
踊る大捜査線 N.E.W. メトロポリスを駆け抜けろ！	9/18		
汝、星のごとく	10/9	✓	
うるわしの宵の月	10/23		
ゴジラ-0.0	11/3	✓	
魔法使いの夜	11/20		
劇場版 薬屋のひとりごと 亡妃の秘宝	12/11	✓	
SUKIYAKI 上を向いて歩こう	12/25		
カイジ 人生リベンジゲーム	27/1/29		
殺人の門	27/2/19		

2027年以降の公開日未発表作品名	公開日	①	②
劇場版「全領域異常解決室」2作連続公開	27年春		
劇場版「ハイキュー!! VS 小さな巨人」	27年	✓	
劇場版「虎に翼」	27年	✓	

「TOHO NEXT」レーベル

2027年2月期 作品名	公開日	①	②
GEMNIBUS vol.2	26/3/6	✓	
舞台「刀剣乱舞」禺伝 矛盾源氏物語～再演～ ライブビューイング	3/8		
3D LIVE「うたの☆プリンスさまっ♪ ALL STAR STAGE-Happy Celebration-」ライブビューイング	3/22		
2025 INI LIVE [XQUARE - MASTERPIECE] - LIVE FILM	3/27		
ONE OK ROCK DETOX JAPAN TOUR 2025 AT NISSAN STADIUM IN CINEMAS	4/17		
SUPER BEAVER LIVE & DOCUMENTARY -現在地-	5/22		
Never After Dark	6/5		
君は映画	6/19		
THE ORIGIN OF ULTRAMAN	7/3		
我々は宇宙人	9/25		

ラインナップ(<https://www.toho.co.jp/movie/lineup>)

映画事業:2027年2月期～ 洋画/GKIDS配給ラインナップ(7/15時点)

[更新(2026年7月15日時点)]

国内 配給作品(主に東宝東和)

ユニバーサル・ピクチャーズ作品／その他	公開日
ウィキッド 永遠の約束	26/3/6
ギャビーのドールハウス ザ・ムービー	3/13
ザ・スーパーマリオギャラクシー・ムービー	4/24
ミニオンズ&モンスターズ	8/7
ディスクロージャー・デイ	10/1
英国ロイヤル・バレエ&オペラ in シネマ	順次公開中
パリ・オペラ座 IN シネマ 2026	順次公開中

パラマウント・ピクチャーズ作品	公開日
劇場版スポンジ・ボブ 呪われた海賊と大冒険だワフワフワ!	26/4/1
ビリー・アイリッシュ - HIT ME HARD AND SOFT: THE TOUR (LIVE IN 3D)	5/8
トップガンThe 40th ANNIVERSARY	5/13
スクリーム7	6/19
最終絶叫計画 令和!	6/26
パッセンジャー	7/10
パウ・パトリール ザ・ダイノ・ムービー	7/24
ハート・オブ・ビースト	9/25
ストリートファイター／ザ・ムービー	10/16
エベネーザ(仮題)	26年

ワーナー・ブラザース作品	公開日
ザ・ブライド!	26/4/3
ゼイ・ウィル・キル・ユー	5/8
THE MUMMY／ザ・マミー 棺の中の少女	5/15

東宝東和 配給ラインナップ(<https://tohotowa.co.jp/>)
 東和ピクチャーズ 配給ラインナップ(<https://towapictures.co.jp/>)
 GKIDS 配給ラインナップ(<https://gkids.com/films-series/>)

※下線部分は2026年4月「決算説明資料」からの更新箇所

ワーナー・ブラザース作品	公開日
モータルコンバット／ネクストラウンド	6/5
スーパーガール	6/26
オークストリートの異変	8/14
25周年記念「ハリー・ポッターと賢者の石」	8/28
DIGGER／ディガー	10/9
クレイフェイス	10/30
デューン 砂の惑星PART3	12/18
キャット・イン・ザ・ハット	12/25
リメイ(仮題)	27年
ザ・グレート・ビヨンド(仮題)	27年
プラクティカル・マジック／魔女たちの秘密	未定

GKIDS 主要配給作品

作品名	公開日
KIKI'S DELIVERY SERVICE	26/3/13
THE KILLER 4K Restoration	4/5
Chao	4/10
The Secret World of Arrietty	4/21
Whisper of the Heart	4/21
DECORADO	5/15
Tekkonkinkreet REMASTERED IN 4K	5/31、6/1
ANOTHER WORLD	6/5
STUDIO GHIBLI FEST 2026	6月～10月
Adolescence of UTENA	6/21、22
EVANGELION 30th MOVIE Fest	7/21、7/22
YOUR NAME	8/14
Shaun The Sheep: The Beast of Mossy Bottom	9/18
GODZILLA MINUS ZERO	11/6
LOOK BACK	26年

映画事業：2027年2月期 興行収入10億円以上の国内作品一覧

[新規(2026年6月末時点)]

東宝 配給作品

作品名	公開日	(億円)
		興行収入
劇場版「名探偵コナン ハイウェイの墮天使」	26/4/10	135.1
SAKAMOTO DAYS	26/4/29	27.9
ゴールデンカムイ 網走監獄襲撃編	26/3/13	15.0
人はなぜラブレターを書くのか	26/4/17	10.7

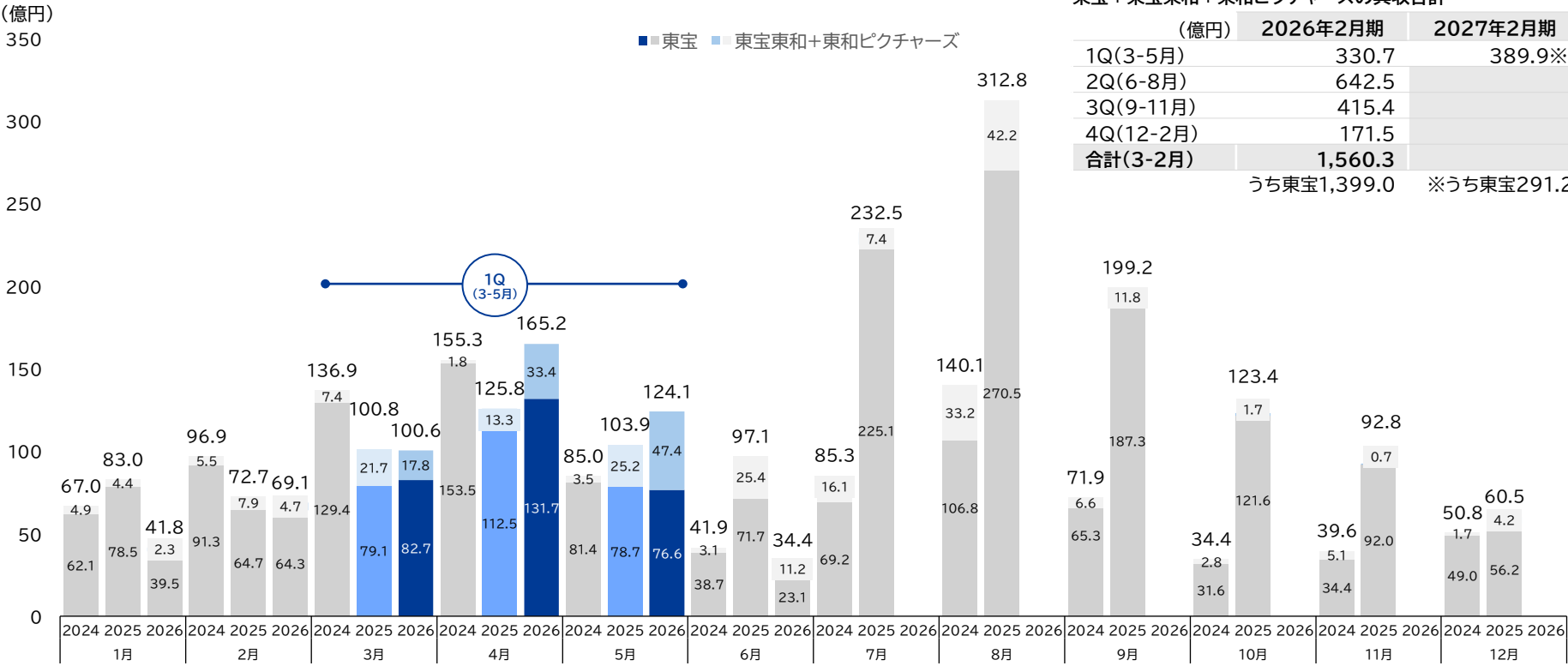
東宝東和等の配給作品

作品名	公開日	(億円)
		興行収入
ザ・スーパーマリオギャラクシー・ムービー	26/4/24	77.6
ウィキッド 永遠の約束	26/3/6	21.9

映画事業：東宝グループ国内配給作品の興行収入推移

[更新]

※東宝の映画営業部及び東宝東和/東和ピクチャーズが配給した作品の興行収入

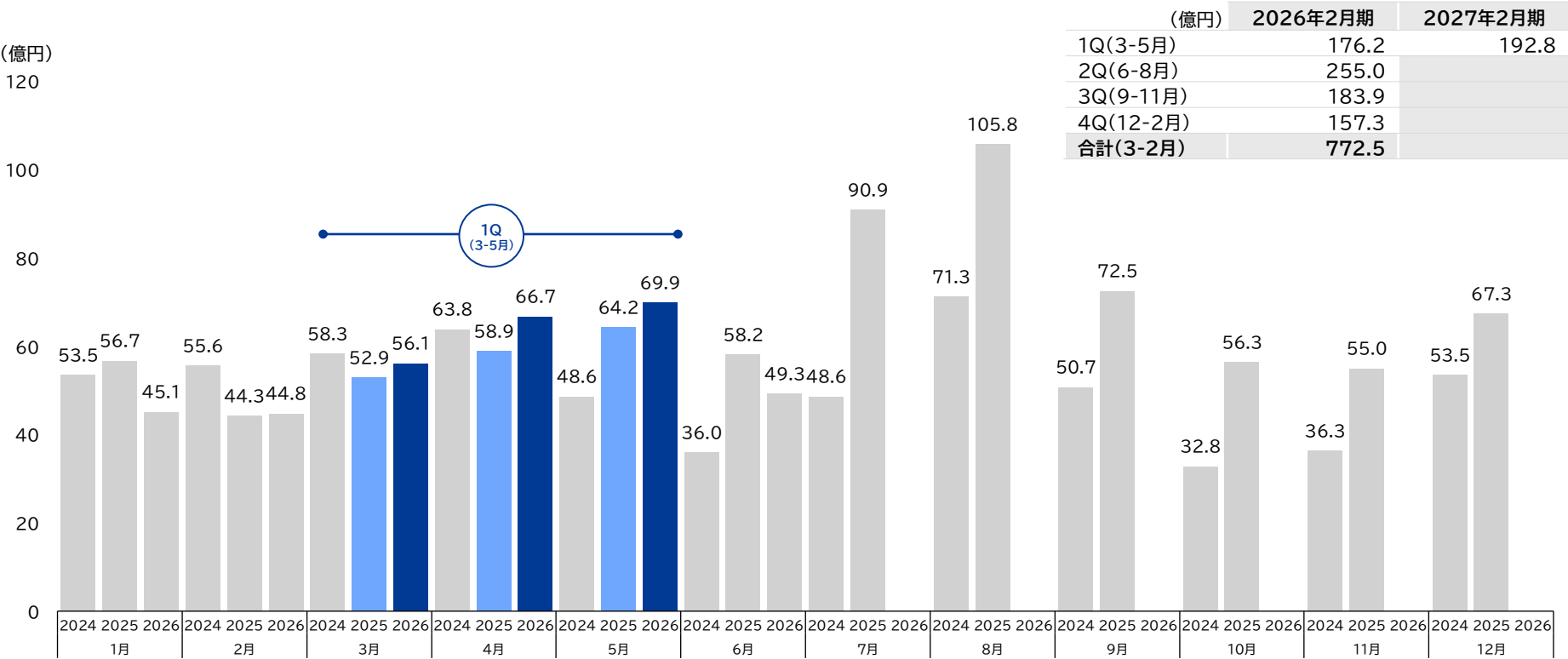


※2025年2月期より実写やアニメ、音楽、ステージ等の配給を行うレーベル「TOHO NEXT」作品を含む。

映画事業：東宝グループ映画興行部門の興行収入推移

[更新]

※東宝グループ映画興行部門の興行収入(TOHOシネマズ等で上映されたすべての作品の興行収入)



映画事業：今夏は話題作が目白押し

[新規]



キングダム 魂の決戦

7月17日劇場公開



映画ちいかわ
人魚の島のひみつ

7月24日劇場公開



映画クレヨンしんちゃん
奇々怪々！
オラの妖怪バケ〜ション

7月31日劇場公開



ブルーロック

8月7日劇場公開

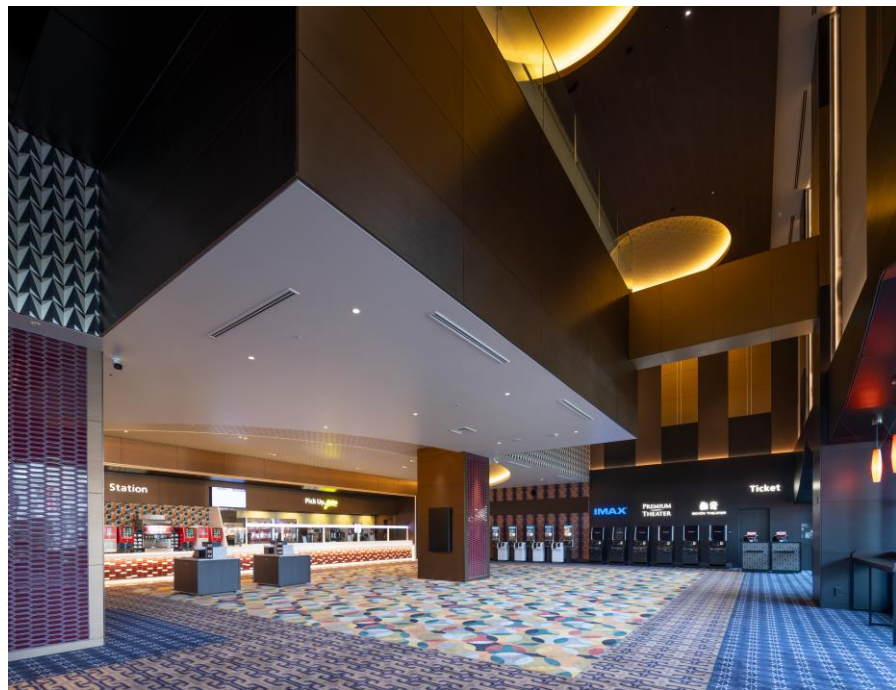


劇場版『TOKYO MER
～走る緊急救命室～
CAPITAL CRISIS』

8月21日劇場公開

映画事業:TOHOシネマズ 名古屋栄 6/11に開業

[新規]



TOHOシネマズ 名古屋栄 劇場ロビー

TOHOシネマズ 名古屋栄について

劇場の概要

- 場所:ザ・ランドマーク名古屋栄
(愛知県名古屋市中区錦三丁目25番1号 ザ・ランドマーク名古屋栄5F~9F)
- 劇場スペック:スクリーン数10、座席数:1,655席
- 「IMAX®シアター(IMAX®レーザー)」は栄エリア初導入
- TOHOシネマズのハイエンドシアター「プレミアムシアター」と体感型サウンド・シアター「轟音シアター」は、東海エリアにおいて初めて導入となる
- セルフ・モバイルオーダーシステムを導入(ご参考:2026年7月15日時点で、TOHOシネマズ14劇場に導入済)

オープニング後の反響について

- 開業記念特別上映 スタジオジブリ作品6作品上映し、ほぼ完売
- 開業記念限定のゴジラフィギュアも即完売
- 開業後も週末・平日の区別なく、多くのお客様による賑わいを見せている

IP・アニメ事業：2027年2月期～ アニメ公開・放送開始

[更新(2026年7月15日時点)]

※下線は2026年4月「決算説明資料」からの更新箇所

TOHO animation作品

作品名	公開・放送予定	制作会社
アニメ「BEASTARS FINAL SEASON」Part2	26年3月配信	オレンジ
アニメ「Dr. STONE SCIENCE FUTURE」第3クール	26年4月放送	トムス・エンタテインメント
アニメ「お隣の天使様にいつの間にか駄目人間にされていた件」2期	26年4月放送	Project No.9
アニメ「スノウボールアース」	26年4月放送	スタジオKAI
アニメ「ドロヘドロ」Season2	26年4月配信	MAPPA
アニメ「僕のヒーローアカデミア」No.170+1「More」	26年5月2日放送	ボンズフィルム
アニメ「無職転生Ⅲ ～異世界行ったら本気だす～」	26年7月放送	スタジオバインド
アニメ「ふつつかな悪女ではございますが ～雛宮蝶鼠とりかえ伝～」	26年7月放送	動画工房
アニメ「僕のヒーローアカデミア」特別短編「I am a hero too」	26年8月3日配信	ボンズフィルム
アニメ「薬屋のひとりごと」第3期	26年10月／27年4月放送	OLM
ミニチュアアニメ「ポップパップポルターズ」	26年10月放送	MOZU STUDIOS 企画制作:シンエイ動画
劇場版 薬屋のひとりごと 亡妃の秘宝	26年12月公開	TOHO animation STUDIO
アニメ「狼と香辛料 MERCHANT MEETS THE WISE WOLF」2期	27年1月放送	パッシュオーネ
スペシャルアニメ「ハイキュー!! バケモノたちの行くところ」	27年放送	Production I.G
「劇場版 ハイキュー!! VS 小さな巨人」	27年公開	Production I.G
アニメ「葬送のフリーレン」第3期【黄金郷編】	27年10月放送決定	マッドハウス
「ゴジラ」新作アニメシリーズ	制作決定	オレンジ × Igloo Studio
アニメ「怪獣8号」完結編	製作決定	Production I.G／スタジオカラー
アニメ「ドロヘドロ」Season3	制作決定	MAPPA
アニメ「呪術廻戦」第4期「死滅回游 後編」	制作決定	MAPPA

サイエンスSARU作品

作品名	公開・放送予定
アニメ「天幕のジャードウーガル」	26年7月放送
アニメ「攻殻機動隊 THE GHOST IN THE SHELL」	26年7月放送
アニメ「ダンダダン」第3期	27年放送

TOHO animation作品 ラインナップ:<https://tohoanimation.jp/portal/>
 サイエンスSARU作品 ラインナップ:<https://sciencesaru.com/works>

IP・アニメ事業：ゲームラインナップ

[更新]

配信中ゲーム作品

※下線は2026年4月「決算説明資料」からの更新箇所

作品名	作品分類	配信開始	備考
「ゴジラバトルライン」	幹事	2021年6月(スマートフォン) 2022年8月(PC)	- スマートフォン・PC向け - 企画・制作・開発・運営:東宝 - 累計450万DL突破
「呪術廻戦 ファントムパレード」	協業	- 国内版:2023年11月(スマートフォン)、2024年4月(PC) - グローバル版:2024年11月(スマートフォン)、2025年8月(PC)	- スマートフォン・PC向け - 企画・制作:サムザップ、東宝 - 開発・運営:サムザップ - 全世界のプレイヤー数が2,500万人を突破
「怪獣8号 THE GAME」	協業	- 国内版・グローバル版:2025年8月(スマートフォン) 2025年10月(PC)	- スマートフォン・PC向け - 企画・制作:アカツキゲームス、東宝、プロダクション・アイジー - 開発・運営:アカツキゲームス - 宣伝協力:東宝、プロダクション・アイジー - 累計500万DL突破
「天穂のサクナヒメ〜ヒナカ巡霊譚〜」※	幹事	2026年2月(スマートフォン)	- スマートフォン・PC向け - 企画・配信:東宝 - 制作:東宝、えーでるわいす - 開発・運営:G2 Studios

配信予定ゲーム作品

「ハイキュー!! ALL Challengers」	幹事	配信日未定	- スマートフォン向け - 企画・配信・制作:東宝 - 開発・運営:G2 Studios
---------------------------	----	---	--

※2026年7月27日(月)16:59をもってサービスを終了

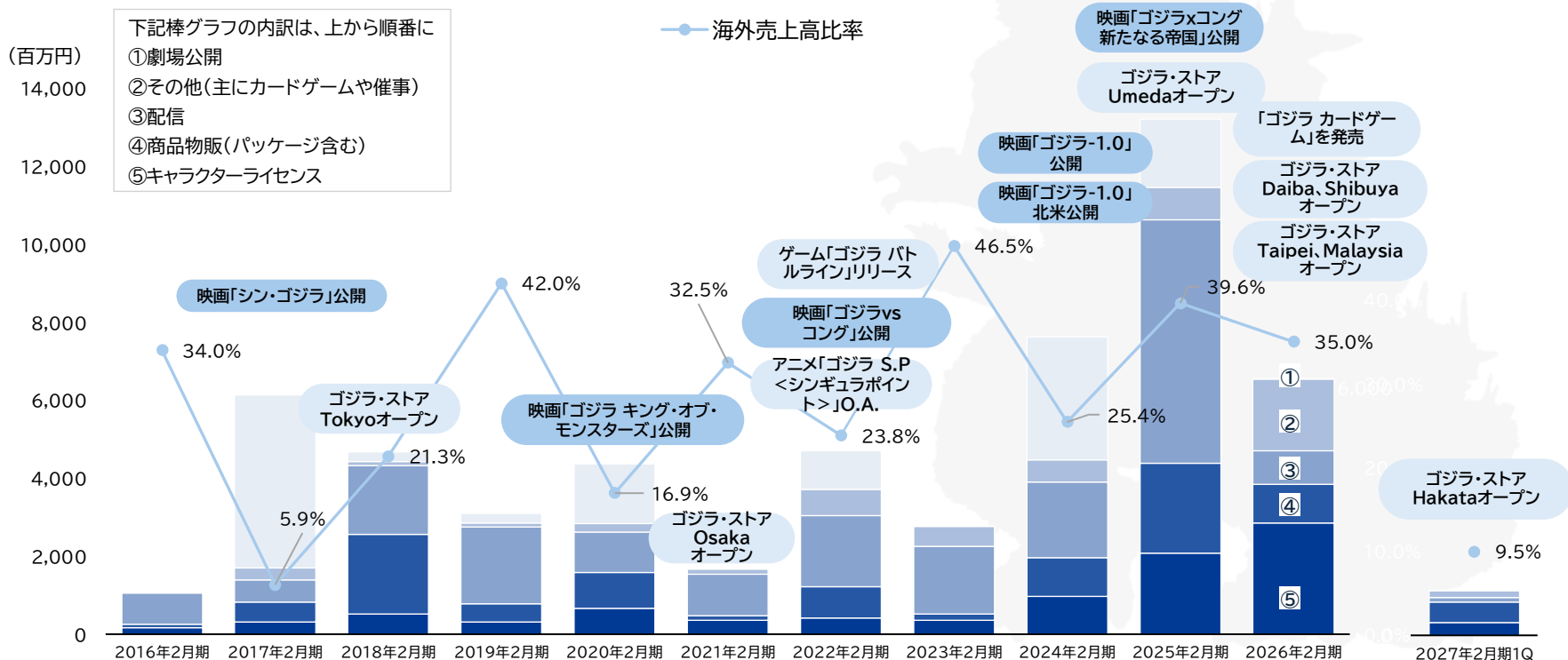
ラインナップ: <https://www.toho.co.jp/anime/lineup-games>

IP・アニメ事業:ゴジラシリーズ:市場規模目標と営業収入の推移(ソース別)

[27/2期1Q数値を更新]

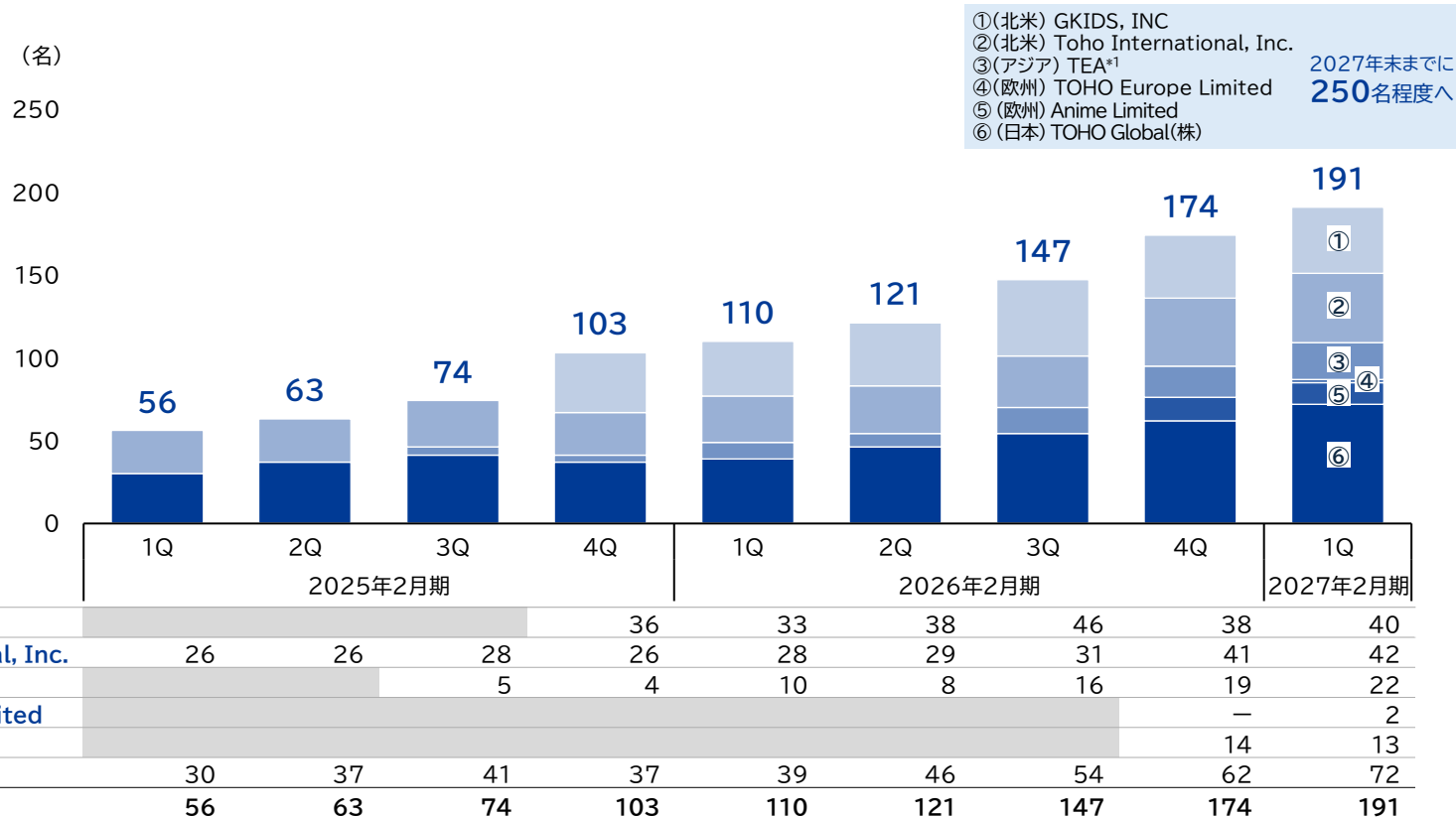
2032年にゴジラのIP市場規模を800億円*に

*国内外のゴジラのキャラクターライセンス収入から割り戻して算出したライセンス売上換算。2025/2期は同約400億円、2026/2期は同約550億円。



IP・アニメ事業：海外事業の人員推移(TOHO Globalグループ)

[新規]



※正社員+その他(契約社員、派遣社員等)の合計値。持分法適用会社のIGLOO STUDIO CO., LTD.とCJ ENM FIFTH SEASON LLCの人員数は含めていない

*1 TOHO ENTERTAINMENT ASIA PTE. LTD.

演劇事業：2027年2月期～演劇作品ラインナップ

[更新(2026年7月15日時点)]

シアタークリエ

タイトル	日程
ミュージカル「ブラッド・ブラザーズ」	26年3～4月
VOICARION 10周年記念公演	26年4月
ミュージカル「レベッカ」	26年5～6月
ミュージカル「町田くんの世界」	26年7月
ミュージカル「ゴースト」	26年8月
ミュージカル「民王」	26年9～10月
ミュージカル「RENT」	26年10～11月
ミュージカル「メイビー、ハッピーエンディング」	26年11～12月
Naoto Kaiho Concert「ever after」	26年12月～27年1月
リラティブリー・スピーキング この人、私の お父さん	27年3月

海外公演

タイトル	日程	劇場名
舞台「千と千尋の神隠し」 台北公演	26年12月～ 27年1月	台北 国家戯劇院
舞台「千と千尋の神隠し」 トロント公演	27年5～8月	プリンセス・オブ・ ウェールズ・シアター
舞台「千と千尋の神隠し」 ロサンゼルス公演	27年9～10月	アーマンソン・シアター
舞台「千と千尋の神隠し」 ロンドン公演	28年3～7月	ロンドン・コロシウム

その他主催公演

※下線は2026年4月「決算説明資料」からの更新箇所

タイトル	日程	主な劇場名
ミュージカル「ロマンティックス・アノニマス」	26年3月	東京建物 Brillia HALL
ミュージカル「ジキル&ハイド」	26年3月	東京国際フォーラム ホールC
ミュージカル「天使にラブ・ソングを～シスター・アクト～」	26年3～4月	明治座
ミュージカル「チャーリーとチョコレート工場」	26年3～4月	ウエスタ川越、日生劇場
ミュージカル「メリー・ポピンズ」	26年3～5月	東急シアターオーブ、梅田芸術 劇場メインホール
ミュージカル「アイ・ラブ・坊っちゃん」	26年5月	明治座
New HISTORY COMING ARENA LIVE -The Imperial Theatre Symphony-	26年8月	東京ガーデンシアター 東京国際フォーラム ホールA
キングダムⅡ-継承	26年8～9月	東京建物 Brillia HALL
ミュージカル「ファニー・ガール」	26年9月	日生劇場
ミュージカル「SPY×FAMILY 2 爆弾犬篇 &豪華客船篇」	26年9～10月	東京建物 Brillia HALL ウエスタ川越
ミュージカル「ミス・サイゴン」	26年10～11月	東急シアターオーブ
ミュージカル「ラ・カージュ・オ・フォール」	26年12月	日生劇場
ミュージカル「ミー&マイガール」	26年12月	EX THEATER ARIAKE
音楽エンタテインメントショー「VOICE MONSTER」	27年3月	Shibuya LOVEZ
舞台「千と千尋の神隠し」	27年3～5月	明治座
ムーラン・ルージュ！ザ・ミュージカル	27年夏	EX THEATER ARIAKE
ミュージカル「レ・ミゼラブル」	27年秋	(未定)

ラインナップ: <https://www.toho.co.jp/stage/lineup>

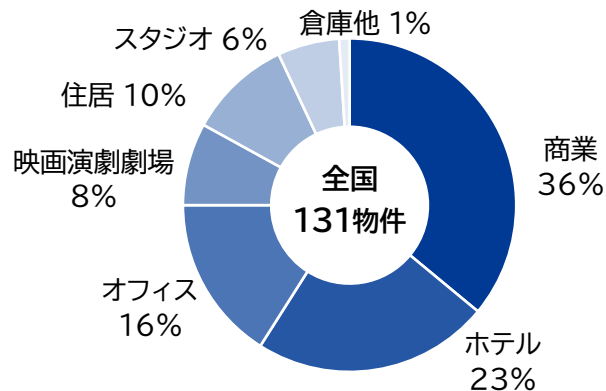
不動産事業：東宝の不動産ポートフォリオ

[更新(26年5月末時点(1Q空室率を更新))]

当社保有主要物件

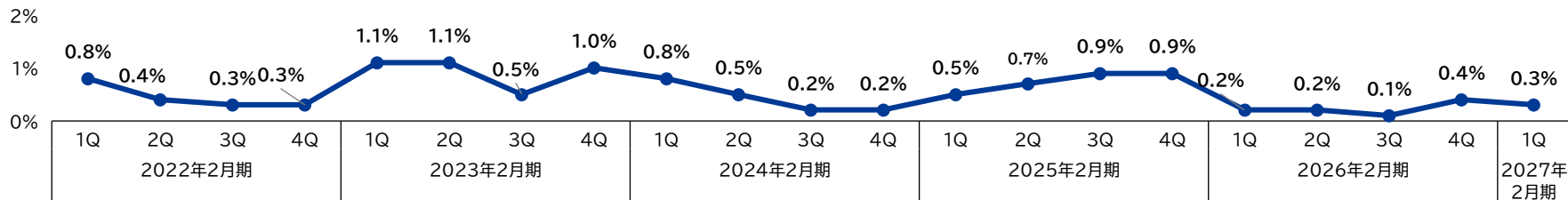
物件名	主な用途
【東京都】61件	
東宝日比谷ビル	映画館、オフィス、商業
東宝日比谷プロムナードビル	オフィス、商業
東京宝塚ビル	演劇劇場、映画館、オフィス
帝劇ビル	(共同再開発中)
東宝シアタークリエビル	演劇劇場、ホテル
有楽町センタービル(有楽町マリオン)	商業
渋谷シネタワー	映画館、オフィス、商業
新宿東宝ビル	映画館、ホテル、商業
東宝スタジオ	スタジオ
【大阪府】10件	
HEPナビオ	映画館、商業
東宝南街ビル	映画館、商業
【愛知県】4件	
エンゼルビル	商業
【その他】56件	

当社保有物件のポートフォリオ(賃貸部分の面積比率)



- 収益への影響が軽微な物件の売却活動を継続
- 日比谷エリアの当社所有オフィスでは、26/2期～27/2期にかけて約10%の賃料アップを推進

空室率の推移

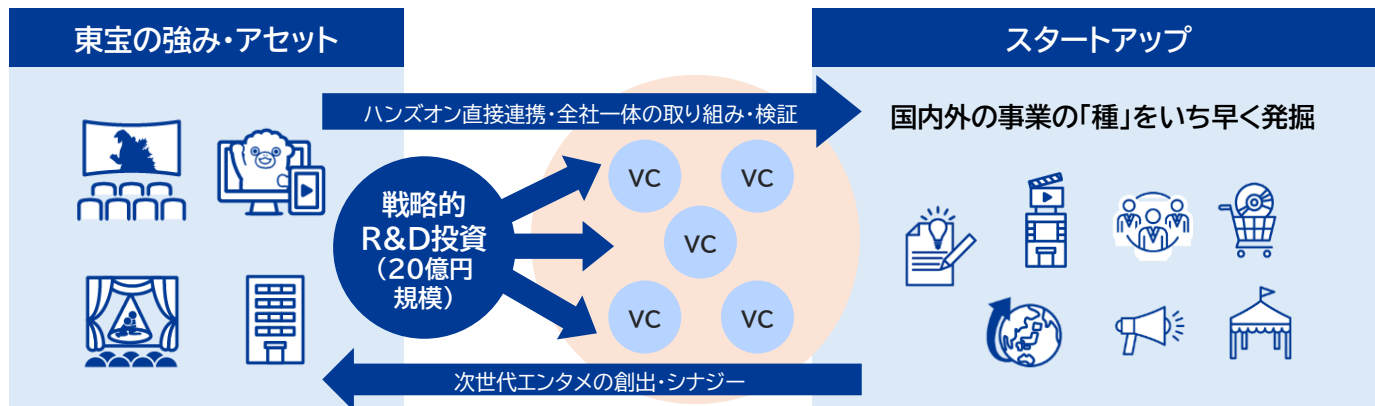


次世代エンタテインメント創出に向けた戦略的R&D投資(7/15発表)

[新規]

20億円規模*のVCファンド出資枠を新設し、スタートアップとの協業により新規事業に繋がるシナジーを創出

- 投資規模・対象**
 - ✓ 20億円規模の戦略的R&D投資を開始
 - ✓ 投資対象・投資領域の異なる複数のVCファンドへ厳選出資
- R&D投資の目的**
 - ✓ VCのスタートアップとのネットワークを活用し国内外の事業の「種」をいち早く発掘
 - ✓ 将来の成長エンジンとなる戦略的リターンを獲得
- ハンズオンでの直接連携**
 - ✓ 複数のVCと並行連携し、スタートアップと直接接点を構築
- 全社一体での取り組み・検証**
 - ✓ 東宝グループが一体となり、発掘からPoC(テスト実証)まで推進
- 次世代エンタメの創出・シナジー**
 - ✓ 東宝の強み・アセット × スタートアップの発想・最先端テック
 - ✓ 既存事業に隣接する領域 + 既存の枠にとらわれない広範な新規事業の開発を推進



※アイコンはイメージであり実際のVCや投資先を表すものではない。

*B/Sで資産計上

(参考) 主な適時開示・事業トピックス・IRカレンダー

[更新]

主な適時開示

2026年3月～2026年7月	
26/3/18	代表取締役の異動および役員人事に関するお知らせ
4/14	自己株式取得に係る事項の決定及び自己株式の消却に関するお知らせ
4/14	自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付けに関するお知らせ
4/14	剰余金の配当(増配)に関するお知らせ
4/14	支配株主等に関する事項について
4/15	自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による 自己株式の取得結果および取得終了に関するお知らせ
4/30	自己株式の消却完了に関するお知らせ
5/28	取締役及び執行役員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分に関するお知らせ
5/28	役員人事に関するお知らせ
6/26	譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分の払込完了に関するお知らせ
6/30	オーエス・シネブラザーズ株式会社の株式取得に関するお知らせ
7/15	次世代エンタテインメント創出に向けた戦略的R&D投資(VCファンド出資)開始に関するお知らせ
7/15	政策保有株式の縮減方針の策定に関するお知らせ

主な事業トピックス

2026年3月～2026年7月	
26/3/24	「TGR Haas F1 Team GODZILLA」コラボレーションマシンを世界初披露
3/28	「TOHOシネマズ 大井町」グランドオープン
4/14	ファンコミュニティ事業の「Gaudiy」に対する一部出資を発表
4/25	ゴジラ カードゲーム「第4弾」を発売開始
6/11	「TOHOシネマズ 名古屋栄」グランドオープン
7/1	TOHOシネマズ、映画鑑賞料金を改定

IRカレンダー

当社の主な開示・イベント		備考
26/5/25	有価証券報告書提出	—
5/28	定時株主総会	—
5/29	2026年2月期 FACT BOOK 発行	—
7/15	2027年2月期第1四半期決算 決算発表	—
9月	IRサイトの全面リニューアル(予定)	—
9月末	東宝グループ統合報告書2026発行(予定)	—
10/15	2027年2月期第2四半期決算 決算発表(予定)	—
10/16	2027年2月期第2四半期決算 決算説明会(予定)	機関投資家、アナリスト向け



TOHO

Moments for Life

その時間が、人生の力になる。

本資料の内容には将来に対する見通しが含まれておりますが、実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は様々な状況変化や要因により、見通しとは大きく異なる結果となる可能性がありますので、ご了承ください。変動要因には、映画・演劇作品の収益、アニメをはじめとしたIPの国内外展開および海外市場の動向、不動産市況・賃貸需要、M&Aや戦略的投資の成否、娯楽の多様化に伴う顧客嗜好の変化、為替・金利動向、製作・建築コストや労務費の変動、法規制の改正や社会的要請の変化、天災地変・地政学的リスクその他の不測の事態などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料は作成時点において入手可能な情報に基づき、細心の注意を払って作成しておりますが、情報の正確性、完全性、妥当性を保証するものではなく、誤記や欠落等により生じた損害に対し、当社は一切の責任を負いません。なお、本資料の無断転載はお断りいたします。